

**STIEBEL ELTRON**

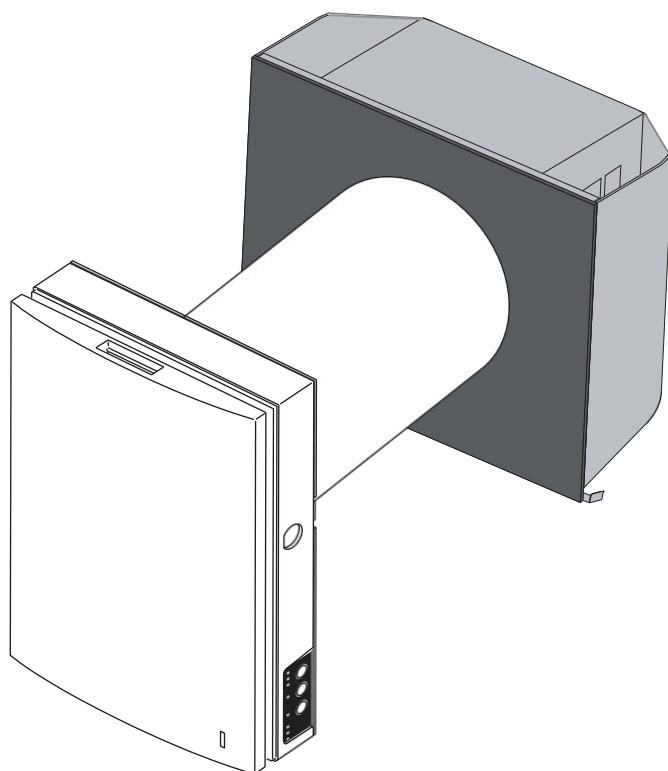
交互給排型  
第一種熱交換換気システム

# 取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型名…… LT-50Smartシリーズ

取付説明書は P33 からです



この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP1.「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

日本スティーベル株式会社

## [目次]

### 取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 機器の特長	3
3. 各部のなまえ	5
4. 使用方法	7
4-1. 風量と運転モードについて	7
4-2. 装置本体のボタンで操作する	8
4-3. リモコンで操作する	9
5. 日常の点検とお手入れ	10
5-1. お手入れの目安と消耗品の入手方法	10
5-2. フィルターの清掃と交換	11
5-3. 外気フードのお手入れ	17
5-4. リモコンの電池交換	18
6. LT-Smart Connect 2アプリ	19
6-1. アプリインストール方法	19
6-2. スマートフォンの接続方法	20
6-3. 親機のWi-Fiパスワード変更方法	24
6-4. 親機のWi-Fiパスワードを忘れた場合	25
6-5. LT-50 Smart Connect 2の使い方	26
7. 故障かな?と思ったら	30
8. 点検および修理について	31
9. 仕様	32



### 取付説明書

1. 安全上のご注意	34
2. 梱包品の内容	37
3. 各部のなまえ	38
4. 設計・施工の前に	39
4-1. 事前の確認事項	39
4-2. 事前に必要な工事について	40
4-3. 設計・施工参考図	44
4-4. ディップスイッチ	47
5. 設置の手順	49
5-1. 設置の流れ	49
5-2. パイプの取り付け	50
5-3. 配線工事	54
5-4. 内装工事・防水工事のときの作業	54
5-5. 外気フードの取り付け	55
5-6. 装置本体の取り付け	57
5-7. 親機と子機接続する	62
5-8. 試運転をする	64
保証書	69




# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
--	---


■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。


 <b>禁止マーク</b> してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b> 注意することを示します。
 <b>指示マーク</b> 必ず行なうことを示します。


## 警告


### 禁止

 絶対に改造はしないでください。


 濡れた手で機器を操作しないでください。

 機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。


 機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。


 機器の離隔距離の範囲内に物を掛けたり、設置したり窓等の開口部がないようにしてください。

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	150mm以上	150mm以上	150mm以上	150mm以上	800mm以上


 機器は、お手入れ中以外は止めないでください。


### 指示

 機器に異常が発生した場合は、機器の電源をOFFにし、ブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

 補強を行なっても震災、その他の天変地異で破損する可能性があります。万が一壁から外れた場合は、下記の①～③を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。





- ① 機器のブレーカを「切」(OFF)にしてください。
- ② 落下物がある場合は取り除いてください。
- ③ 建物が揺れている間は、機器に近づかないでください。

 設置用プレートが正しく取り付けられ、機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。

 お子様や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

# 注意













## 禁止

-  機器に荷重を掛けたりしないでください。
-  ファンが故障して動いていない場合は、そのまま使用しないでください。
-  機器を覆うようにカーテン等を設置しないでください。
-  全熱交換素子は、決して水で濡らさないでください。

## 注意

-  点検清掃をする場合は、怪我をしないように気を付けてください。

## 指示

-  機器の許容周囲温度の範囲内でご使用ください。
-  フィルターが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除をしてください。
-  フィルターの点検清掃をする場合は、必ずファンを停止してから行なってください。
-  機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
-  機器の移設を行なう場合は、日本スティーベル (株) にご相談ください。
-  機器に異常が発生した場合は、ファンを停止し専用 ブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル (株) にお問い合わせください。
-  本取扱説明書に付属している保証書に所定の事項が記入され、捺印があることを確認してください。
-  機器の修理をご依頼の際は必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。
-  本製品は電子レンジなどの家電製品や磁場・静電気・電波障害(無線機や放送局の近くを含む)が発生する場所では使用できない場合があります。万一他の機器と電波干渉が発生した場合は電波を発生する機器の使用を停止してください。
-  Wi-Fi機器が使用する2.4GHz帯は、様々な機器が使用する帯域です。Wi-Fi機器は同じ帯域を使用する機器からの影響を受ける場合があります。正常動作中でも通信距離が低下したり、通信が切断する場合があります。
-  設置場所の構造など様々な要因により、接続の不具合が生じる場合があります。また、操作中の反応も不安定になる場合があります。手順通りの反応がない場合は再度同じ操作をする/しばらく待つ/アプリや本製品の再起動などをお試しください。
-  本製品は全てのWi-Fi対応機器との接続動作を確認しておりません。したがって全てのWi-Fi対応機器との動作を保証するものではありません。



LT-50Smart Connect 2アプリは、iOS13.0以降、Android7.0以降のスマートフォンをご使用ください。



ダイレクトアクセスで機器+スマートフォンで、8台を超える機器を接続する場合は親機を2台以上設定の上、回路を分けてご使用ください。



ルーターによるアクセスを行なう場合は必ず機器の台数以上を接続できるルーターを選択してください。

## 2. 機器の特長

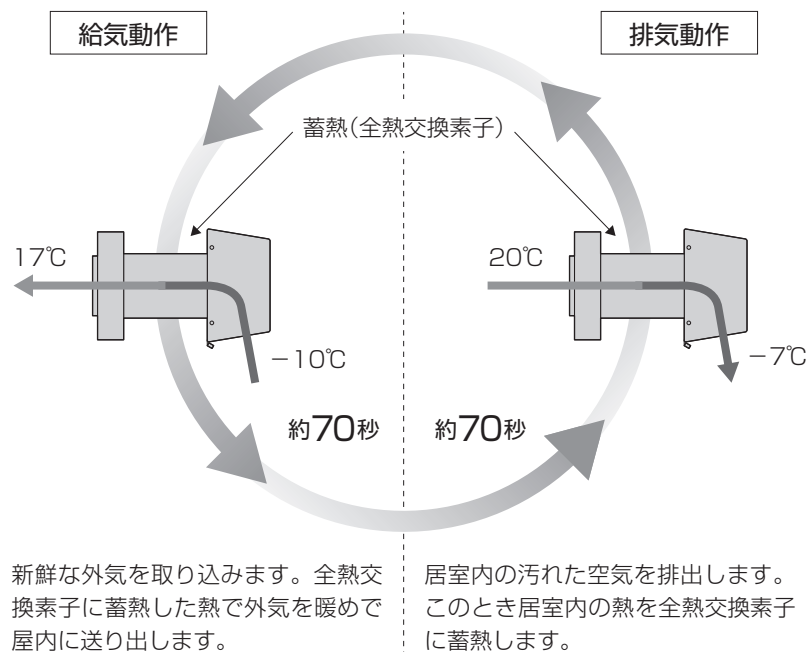
LT-50Smartシリーズ（本文中では、機器と表記）は、交互給排型第一種熱交換換気システムです。

- 機器本体側面の操作ボタンで操作することができます。
- 設定風量は、3段階に変更することができます。
- セラミック蓄熱体を採用し、温度と湿度の両方を交換し、冷暖房コストの削減につながります。
- 付属の前面プレート、並びに外気フードは、現代のインテリア・エクステリアにマッチしたモダンなデザインです。
- 基本仕様は、約70秒ごとに給気と排気を切り替える熱交換モードと、1台ずつ給気と排気に固定された換気モードを選択できます。
- LT-50 Smart Connect 2アプリを使うと、Wi-Fi通信可能範囲内で、LT-50 Smartを操作できます。
- オプション品のリモコンで操作できます。

### ■LT-50Smartのユニークな熱交換方法“熱交換モード”

LT-50Smart の給排気では、まず居室内の汚れた空気を約70秒間排気します。その際にパイプ内部の全熱交換素子に居室内の熱を蓄熱します（排気動作）。約70秒後ファンが逆回転し、今度は新鮮な外気を70秒間取り込みます。その際に全熱交換素子内に蓄熱された熱と熱交換を行い、室内温熱条件に近い空気に変換してから給気します（給気動作）。このサイクルを何度も繰り返すことで、一台で給気と排気と熱交換を行うことができます。

“熱交換モード”は、換気による熱ロスも少なく、空気を常に新鮮に保つことができます。











### ■機器の構成

機器は通常、2台以上の偶数台で設置し、半数が給気動作、残りの半数が排気動作というバランスの良い換気を行ないます。設置場所の規模に応じて必要台数を設置してください。

## ■『換気モード』でのファンの動作

装置本体ごとにあらかじめ設定された内容に基づき、常に排気動作または給気動作の固定になります。通常は偶数台で半数ずつ割り当てます。

## ■熱交換モードと換気モードでの動作の違い (4 台設置の場合の例)

	親機	子機1	子機2	子機3
熱交換モード時の動作 (70秒ごとに 交互に動作を切り替え)	 給気	 排気	 給気	 排気
換気モード時の動作例※ (常に同じ動作)	 給気	 排気	 給気	 排気

※ディップスイッチの設定により異なります。

## ■『スタンバイモード』でのファンの動作

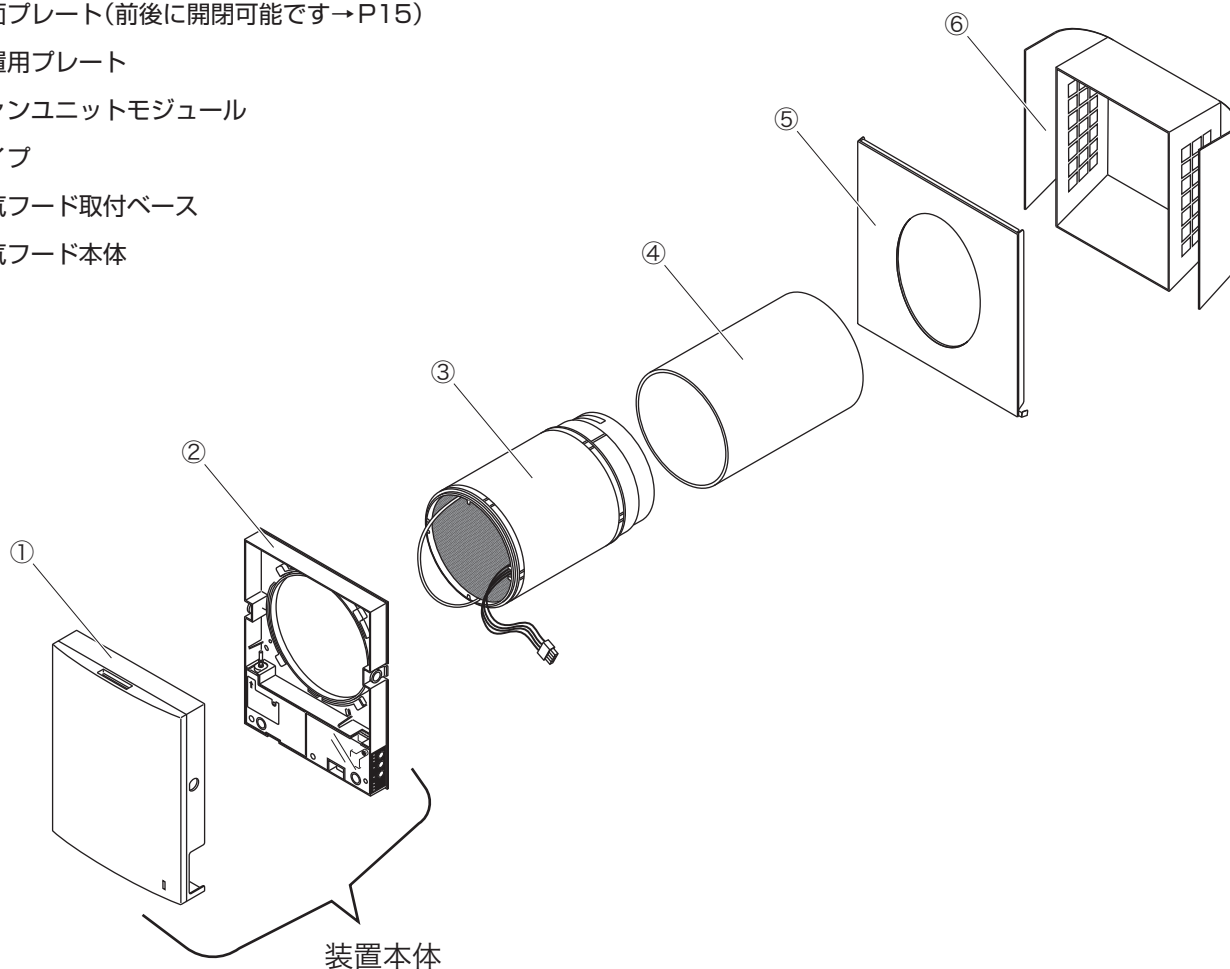
リモコンおよび装置本体右側面にある操作ボタンによる電源オフを可能にするかを設定します。

通常、機器は24 時間連続で運転します。誤って換気が停止することのないように電源オフ時に最小風量運転で行う設定が可能です。換気を停止するときは、ブレーカを「切」(OFF) にします。

# 3. 各部のなまえ

## ■システム全体

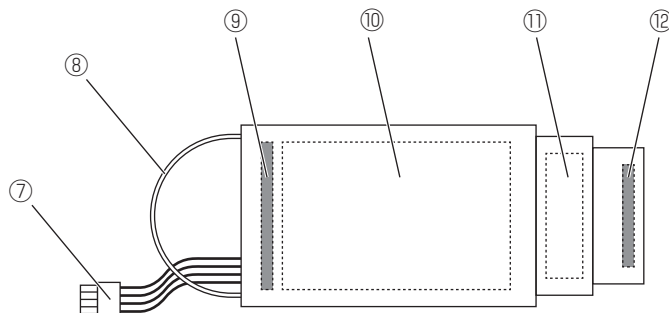
- ① 前面プレート(前後に開閉可能です→P15)
- ② 設置用プレート
- ③ ファンユニットモジュール
- ④ パイプ
- ⑤ 外気フード取付ベース
- ⑥ 外気フード本体



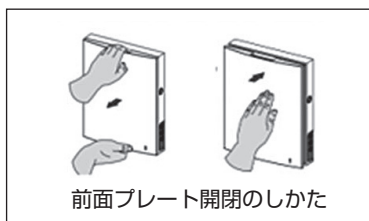
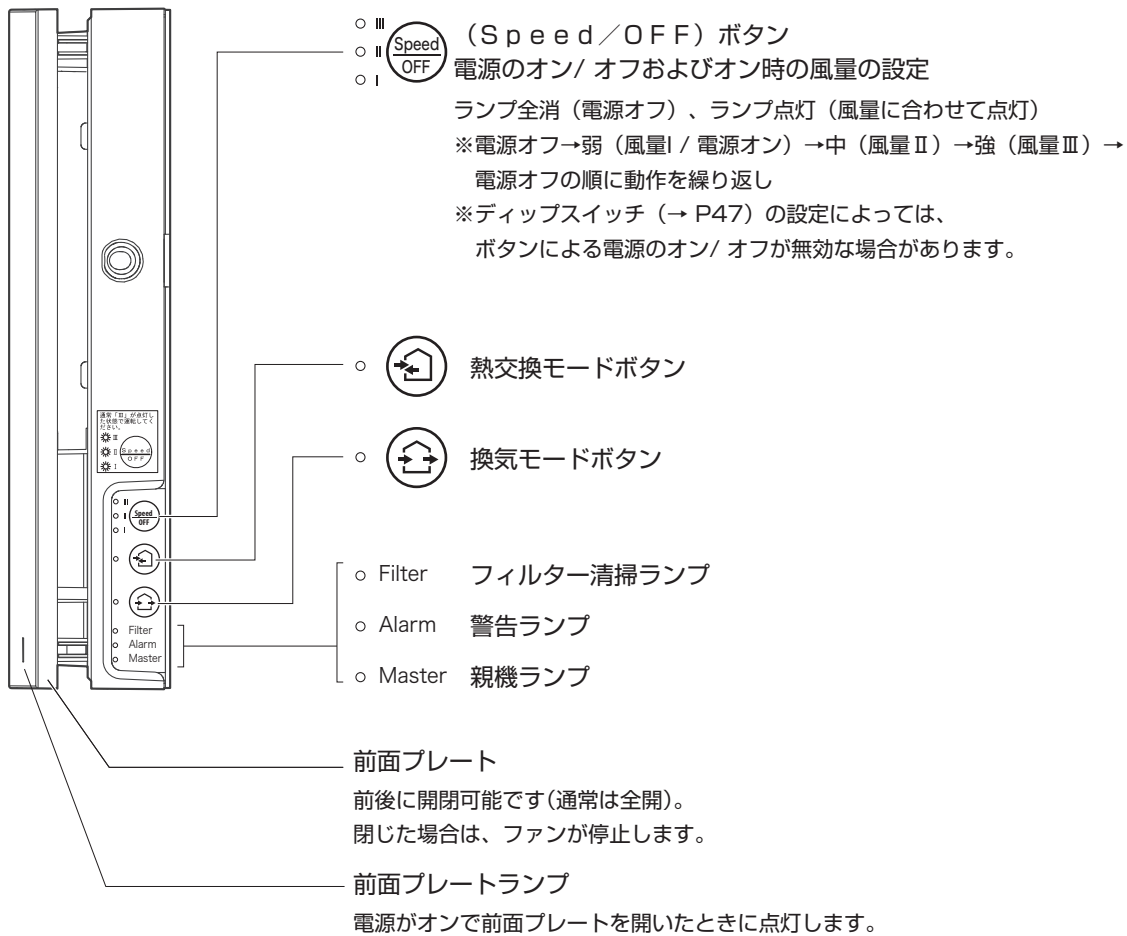
## ●ファンユニットモジュール内部

- ⑦ コネクタ
- ⑧ 引き出しワイヤー
- ⑨ フィルター (室内側)
- ⑩ 全熱交換素子 ※
- ⑪ ファン ※
- ⑫ フィルター (室外側)

※ファンユニットモジュール内に固定で取り外せません。



## ■装置本体右側面の操作ボタンと表示ランプ



## ■リモコン (オプション品)



- 電源オン/オフボタン
- III 強 (風量 III) ボタン    ○ II 中 (風量 II) ボタン    ○ I 弱 (風量 I) ボタン
- 熱交換モードボタン    ○ 換気モードボタン
- 急速換気モードボタン    ○ ナイトモードボタン



# 4. 使用方法

## 4-1. 風量と運転モードについて

機器は、3段階の風量と、6種類の運転モードを設定できます。オプションのリモコンまたはアプリまたは装置本体の右側面にある操作ボタンを使って設定します。装置本体では設定できる運転モードが限定されます。

### ■風量一覧（ランプ表示： ● 点灯 ○ 消灯）

風 量	アイコン			風 量
	本 体	アプリ	リモコン	
強 (風量 III)	● III ● II ● I 			風量「強」ボタンを押します。
中 (風量 II)	○ III ● II ● I 			風量「中」ボタンを押します。
弱 (風量 I)	○ III ○ II ● I 			風量「弱」ボタンを押します。
停止	○ III ○ II ○ I 			電源オン/オフボタンを押します。 ※ディップスイッチ設定（→ P47）で、電源のオフを受け付けないように設定している場合は、この操作をしても装置本体の電源をオフにすることはできません。

(Speed/OFF) ボタンを押すたびに「停止→弱→中→強→停止→・・・」のように切り替わります。弱では、Iランプが点灯、中ではIとIIランプが点灯、強ではすべてのランプが点灯し、停止状態ではすべて消灯します。

### ■運転モード一覧

運転モード	アイコン			機器の動作
	本体	アプリ	リモコン	
熱交換モード	●			機器の基本モードです。給気動作と排気動作を約 70 秒で切り替えて、屋外の新鮮な空気に室内の排出する空気の熱を伝えます。換気による熱ロスを少なくします。通常はこのモードでご利用ください。
換気モード	●			屋外からの新鮮な空気を室内に取り込み、室内の汚れた空気を室外に排出します。装置本体ごとに「給気動作」または「排気動作」のいずれかで動作します。どちらで動作するかは、装置本体のディップスイッチの設定によります。
急速換気モード	設定不可			約4時間（初期設定時）風量「強」で運転します。その後、設定風量に戻ります。一時的に急速に換気したい場合に使用します。「強」運転中はI、II、IIIランプが点滅します。
ナイトモード	設定不可			約8時間（初期設定時）風量「弱」で運転します。その後、設定風量に戻ります。就寝時など、一時的に静かに運転したい場合に使用します。「弱」運転中はIランプが点滅します。
スケジュール運転モード	設定不可		設定不可	指定した時間に設定した風量・時間にて運転させることができる機能です。
給気モード	設定不可		設定不可	親機と子機すべて「給気動作」動作します。

## ■ランプ表示一覧

○ Filter	フィルター 清掃ランプ	前回のフィルター清掃から90日たつと点灯します。このランプが点灯したらフィルターを清掃または交換してください。
○ Alarm	警告ランプ	機器に不具合があった場合に点滅します。P30「7. 故障かな?と思ったら」を参照してください。親機以外の不具合の場合、親機が点灯します。
○ Master	親機ランプ	装置本体が親機に設定されている場合に点灯します。子機に設定されている装置本体は消灯します。

## 4-2. 装置本体のボタンで操作する





親機の装置本体の右側面にある操作ボタンを使って操作します。

### MEMO



- 装置本体右側面の操作ボタンは親機だけが有効です。子機では操作できません。
- 装置本体右側面にある「親機ランプ」が点灯している機器が親機になります。
- 子機の表示ランプは、親機ランプと警告ランプを除いて、親機と連動します。
- 装置本体右側面の操作ボタンでは、急速換気モードとナイトモードの選択はできません。リモコン（オプション品）またはLT-50 Smart Connect 2アプリを使ってください。

### 4-2-1. 風量を設定する

(ランプ表示： ● 点灯 ○ 消灯)

「弱」に設定する (風量Ⅰ)	● III ● II ● I 	ボタンの横にあるランプの「I」だけが点灯するようになるまで、ボタンを押します。
「中」に設定する (風量Ⅱ)	○ III ● II ● I 	ボタンの横にあるランプの「I」と「II」が点灯するようになるまで、ボタンを押します。
「強」に設定する (風量Ⅲ)	○ III ○ II ● I 	ボタンの横にあるランプの「I」「II」「III」のすべてが点灯するようになるまで、ボタンを押します。
停止	○ III ○ II ○ I 	ボタンの横にあるランプがすべて消灯するまで、ボタンを押します。 ※ディップスイッチ設定(→P47)で、電源のオフを受け付けないように設定している場合は、この操作をしても装置本体の電源をオフにすることはできません。

### 4-2-2. 運転モードを設定する

熱交換モードで 運転する(推奨)	● 	このボタンを押すとランプが点灯し、熱交換モードになります。約70秒ごとに各装置が給気動作と排気動作に切り替わります。
換気モードで 運転する	● 	このボタンを押すとランプが点灯し、換気モードになります。それぞれの装置本体があらかじめ設定された「給気動作」または「排気動作」で運転します。

### 4-3. リモコンで操作する

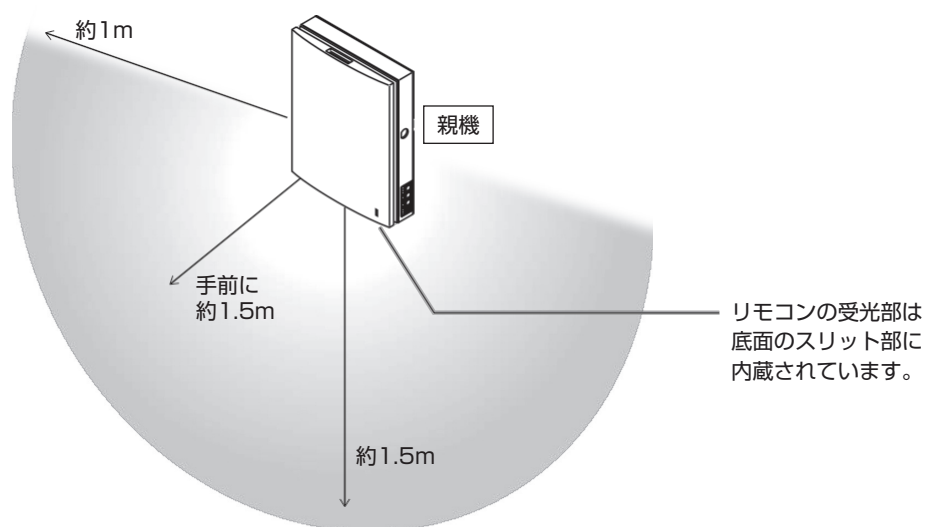
オプション品のリモコンを使って操作します。リモコンは親機に向けて操作してください。

#### MEMO

- リモコンの操作は親機に対してのみ有効です。子機に対しては操作できません。
- 装置本体右側面にある「親機ランプ」が点灯している機器が親機になります。

#### ■リモコンの有効操作範囲

リモコン（オプション品）は、テレビ用などの一般的なリモコンに比べて、有効な操作範囲を制限しています。必ずリモコンを親機に向けて操作してください。子機に向けても設定は変更できません。



# 5. 日常の点検とお手入れ

## 5-1. お手入れの目安と消耗品の入手方法

機器は定期的にフィルターの清掃等のお手入れが必要です。

### ■風量一覧

清掃/交換項目	お手入れの目安	参照ページ
フィルター清掃	3か月、またはFilter (フィルター清掃) ランプが点灯したとき	→P11
フィルター交換	1年	

### ✓ご注意

- ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわし等の使用は、機器や部品等を傷めますので絶対におやめください。
- 上記、フィルター交換の時期は、あくまでも目安であり、その期間中、交換しなくて良いと保証するものではありません。使用環境によっては、上記期間より早く交換が必要になります。

### ■交換用フィルターのネット購入について

機器の交換用フィルターは、下記のQRコードからのサイト、または下記のサイトから購入することができます。

<http://nihonstiebel-ec.shop-pro.jp/>

#### 商品名

標準仕様フィルター  
LT-50Eco / LT-50Pro 用フィルター



### ✎MEMO

- PM2.5対策として、PM2.5フィルターに交換していただくことも可能です。

### ✎おねがい

必ずご使用になっている機器をご確認の上、その機器に対応した交換用フィルターをご購入ください。

## 5-2. フィルターの清掃と交換

3か月に1度、または装置本体右側面にある「フィルター清掃ランプ」が点灯した場合に清掃してください。また、汚れ具合によりますが目安として1年ごとにフィルターは新しいものと交換してください。

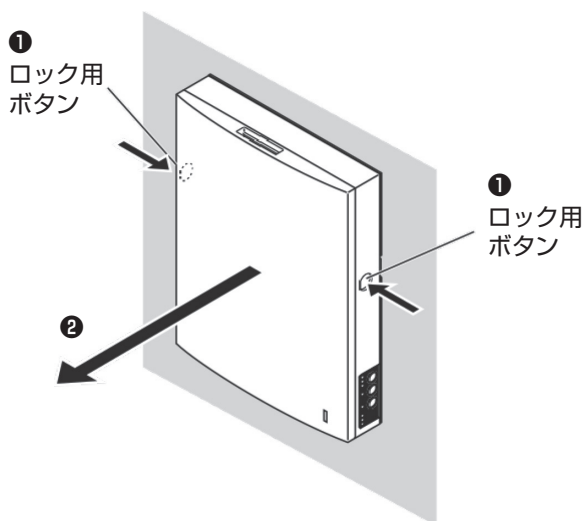
作業するときは、必ず(S p e e d / O F F) ボタンを押して、ファンを停止してから作業をしてください。機器のブレーカは、「切」(O F F) にしないでください。

フィルター清掃ランプが点滅、点灯していない機器も、同時にフィルターの点検清掃に関する一連の作業を行なってください。

### 5-2-1. ファンユニットモジュールを取り出す

**1** ファンを停止させます。

**2** 前面プレートの両サイドにあるロック用ボタンを押しながら、前面プレートをゆっくり手前へ引いて外します。

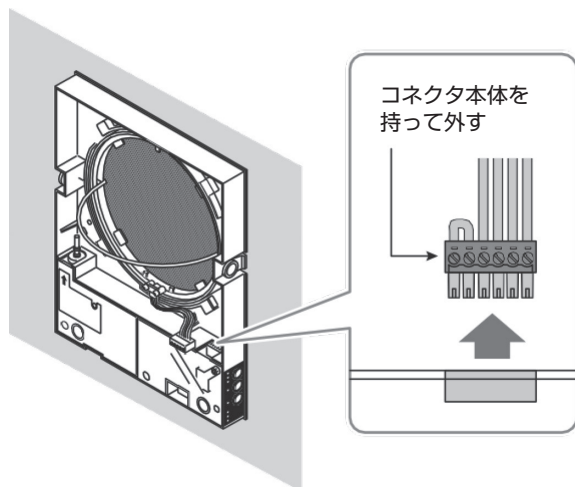


● ファンが高所にある場合は、安全のために二人で作業してください。

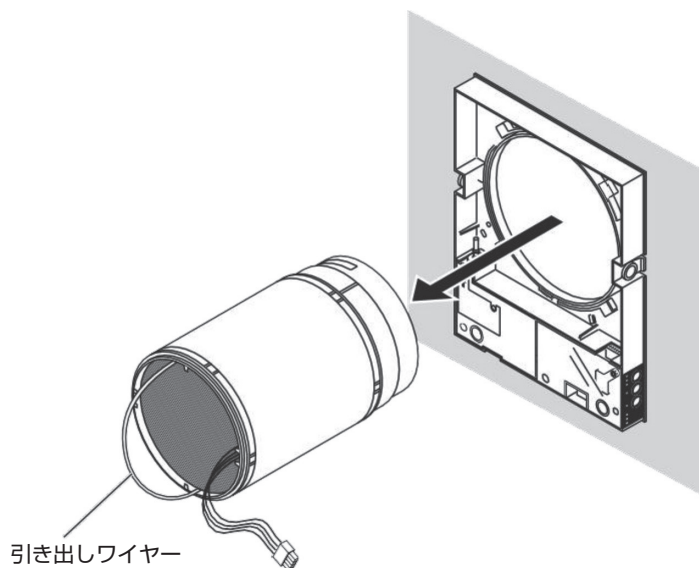
● 装置本体の位置が高い場合は、脚立などの安定した器具を用意して、ファンの前に設置します。

● 前面プレートを開いた状態で図の作業を行なってください。

- 3** ファンユニットモジュールに接続されたコネクタを設置プレートから外します



- 4** 引き出しワイヤーを持って、パイプ内から「ファンユニットモジュール」を手前にゆっくりと引き出します。

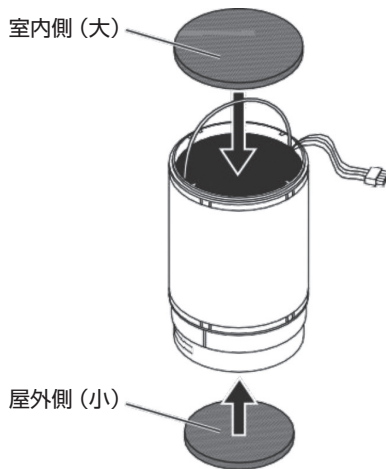


● コネクタを外すときは、ケーブルを引っ張らずに、必ずコネクタ本体を持って外してください。

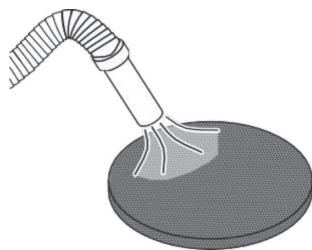
● ファンユニットモジュールは重いのでパイプから取り出す際、重みで落下せぬように、ファンユニットモジュールの下部を支えながら引き出してください。

## 5-2-2. フィルターの清掃および交換

1 フィルター（2 か所）を外します。



2 掃除機でそれぞれのフィルターに付着しているゴミやホコリを取り除きます。



1年に1度、フィルターは新しいものに交換してください。

3 清掃が終わったフィルター、または新しいフィルターをセットします。大きいほうが室内側、小さいほうが屋外側です。

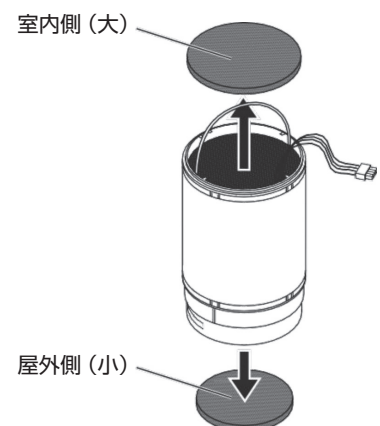
### ✓ ご注意

フィルターは乾燥していることを確認してからセットしてください。フィルターが濡れている状態で、フィルターをファンユニットモジュールにセットしないでください。

●フィルターは、室内側（大）1枚、および屋外側（小）1枚があります。

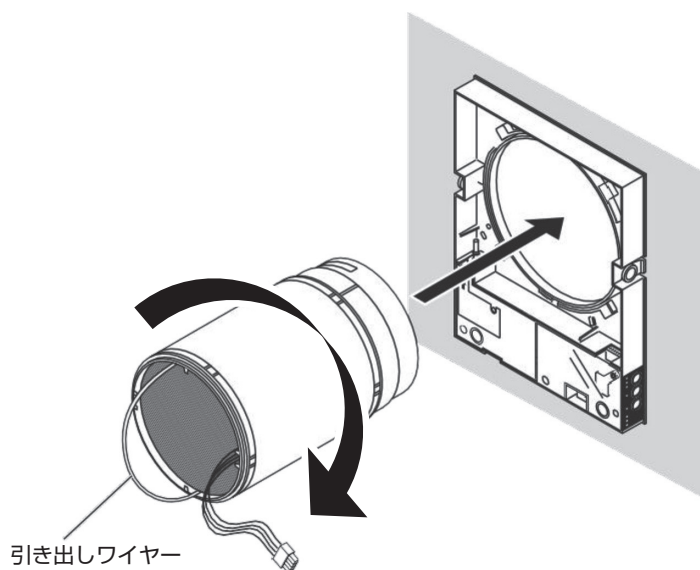
- 汚れがひどい場合は、水道水で水洗いをします。
- 水洗い後は、乾いた布等で十分に水気を取り、日陰または室内で乾燥させます。

●2枚のフィルターには、サイズに違いがあります。

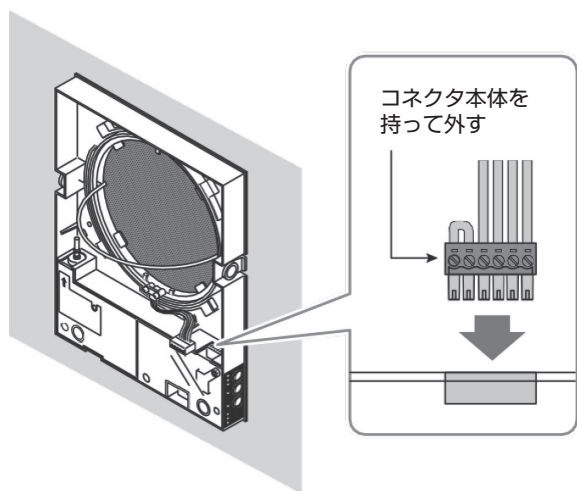


### 5-2-3. ファンユニットモジュールを取り付ける

- 1 引き出しワイヤーを持って、ファンユニットモジュールをパイプの中にゆっくりと押し込みます。



- 2 ファンユニットに接続されているコネクタを、設置用プレート」の端子受けにしっかりと接続します。

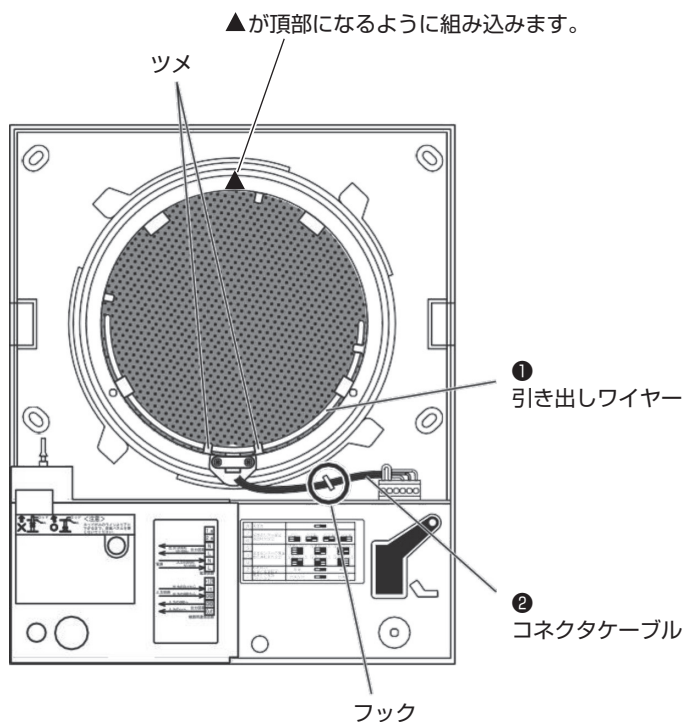


- ファンユニットモジュールを回転させながら入れます。

- 端子の向きに注意し、しっかりと奥まで差し込んでください

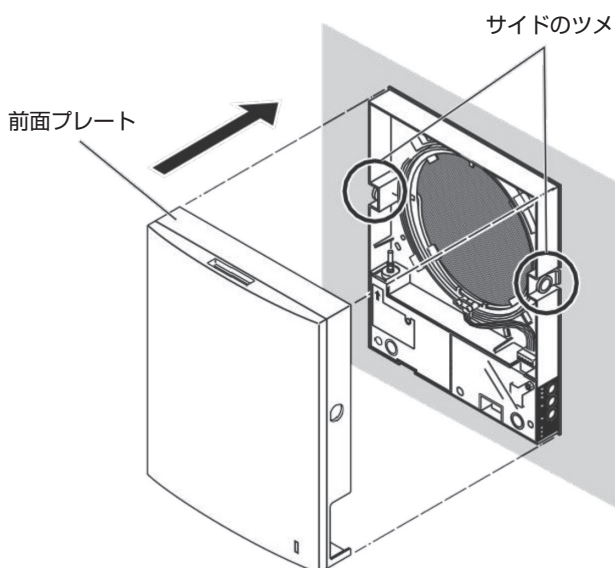


- 3** 給排気の邪魔にならないように、①引き出しワイヤーをツメに引っ掛けます。②コネクタケーブルをフックにはめ込みます。

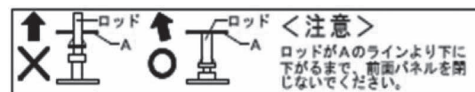


- 4** 運転が停止していることを確認し、前面プレートを取り付けます。

運転停止になって2分以上経過してから  
取り付け作業をはじめてください

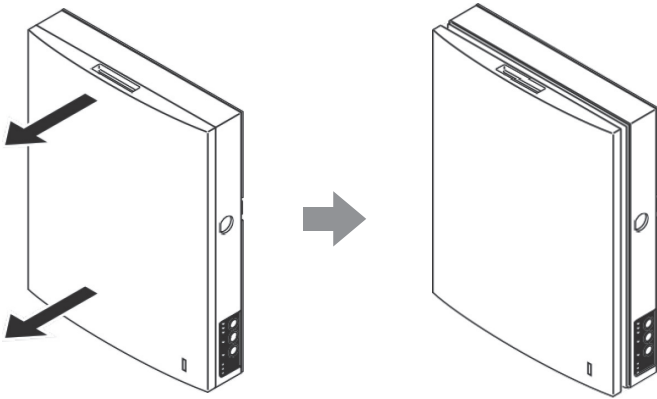



- 運転停止後、2分以上経過しないと、装置本体にある前面プレートのシャッター開閉用モーターが「閉」状態に戻らないため、前面プレートを取り付けることができません。



- 「設置用プレート」両サイドのツメを軽く抑えてカバーをセットします。カチッとハマって、カバーがしっかり固定されるようにセットしてください。
- 警告ランプが点灯し、ファンが回らない場合は、手順②のコネクタ接続が正しくできていない可能性がありますので、再度接続状態を確認してください。

- 5** 前面プレートの上下にある溝を使って、真っ直ぐ前に引き出します。



- 6** 親機の「 熱交換モードボタン」を5秒以上押すまたはアプリでフィルターの画面のフィルタータイマーリセットを押し、フィルターランプの消灯を確認します。

- 7** 動作を確認します。

1

装置本体右側面の（Speed/OFF）ボタンを押して、ファンが動作することを確認します。

2

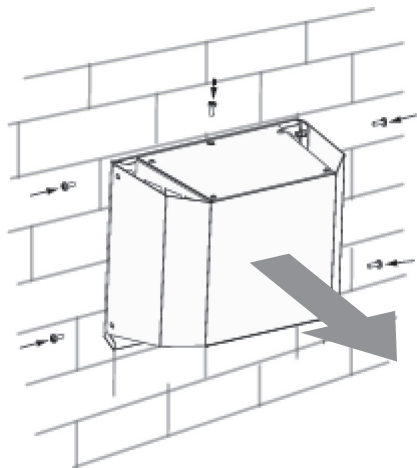
これでフィルターの清掃および交換作業は完了です。

### 5-3. 外気フードのお手入れ

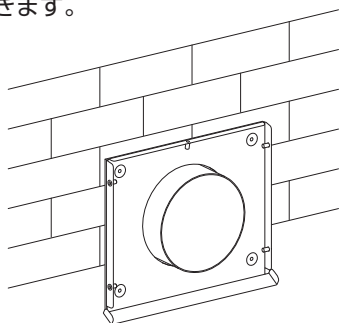
#### ✓ ご注意

外気フードが高所にある場合は、専門の業者にご依頼ください。

- 1 上部1か所、側面各2か所の計5本のネジを外し、外気フード本体を手前に引き出します。



- 2 外気フード本体と取付ベースのホコリや汚れを、布やブラシを使って取り除きます。



- 3 清掃後、外気フード本体を取付ベースにセットし、手順1のネジ5本で固定します。

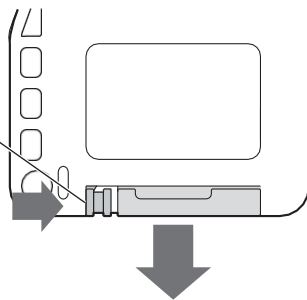
- 取り外したネジは、まとめて保管してください。サビが発生している場合は、取り付け時に新しいネジに交換してください。  
使用ネジ：丸頭ネジ M4 12mm×5本  
(SUS304)

## 5-4. リモコンの電池交換

リモコンは、「CR2025」のボタン電池を1個使用しています。

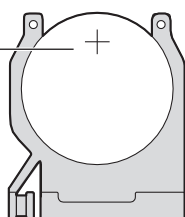
- 1 電池ホルダー左横の溝にコイン等を入れて、リモコン中央側に押しながら、電池ホルダーを引き出します。

溝がありますので、  
コインなどを入れて  
電池ホルダーを開けます。

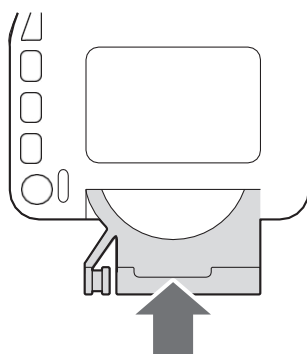


- 2 古い電池を取り出し、新しい電池の「+」側が上になるようにしてセットします。

+側が上になるように  
セットします。



- 3 電池ホルダーを元に戻します。



# 6. LT-50 Smart Connect 2 アプリ

## 6-1. アプリインストール方法

- iOS 13.0以降。iPhone、iPad に対応。
  - Android 7.0以降。
- ①下記のQRコードをスキャンしてください。

iOS操作



Android操作



- ②LT-50 Smart Connect2のアプリをインストールします。



### ✓ ご注意

- iOS版では、設定開始前にキーボードに「英語 (アメリカ)」を追加、選択しておく必要があります。アプリ内で日本語のキーボードを使用した場合、途中でフリーズしてしまうようなことがありますので、「英語 (アメリカ)」のキーボードを切り替えてください。



- ③LT-50 Smart Connect2を最初に開いた際に、右の使用許可が表示されますので、「Appの使用中は許可」を押してください。



## 6-2. スマートフォンの設定方法

### 6-2-1. ダイレクトアクセス

- ① 前面プレートを外します。
- ② スマートフォンの「設定」を開きます。
- ③ Wi-Fi設定を「ON」して、親機のシリアルナンバーで、スマートフォンと機器間をWi-Fiネットワークを接続します。

Wi-Fi名：「FAN：」+親機のシリアルナンバー（16文字）  
親機のWi-Fiパスワード：11111111



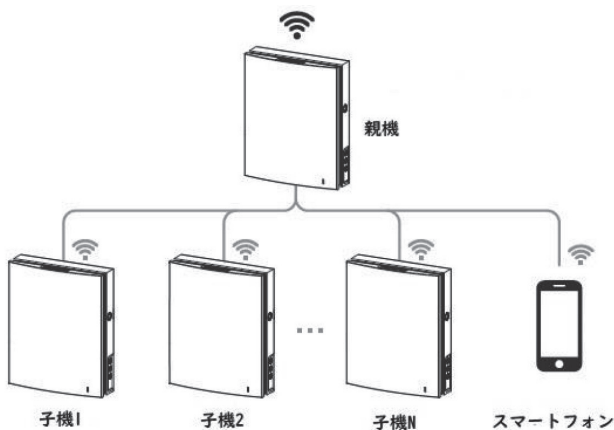
親機のシリアル  
ナンバー

- ④ LT-50 Smart Connect2アプリを起動します。
- ⑤「メニュー」⇒「ホームページ」を選択し、操作画面が表示されれば完了です。



メニュー画面

操作画面



親機：1台  
子機（スマートフォン含む）：最大8台

例) 子機8台の場合、スマートフォン接続不可能  
子機7台の場合、スマートフォン1台接続可能  
子機6台の場合、スマートフォン2台接続可能  
子機5台の場合、スマートフォン3台接続可能

#### ✓ ご注意

- 親機と子機の連携失敗した場合、子機で「Master」ランプが点滅します。その場合は、親機と子機接続を設定しなおしてください。（P62「5-7. 親機と子機接続する」）
- 8台を超える場合は親機を2台以上設定の上、回路を分けてご使用ください。各子機で「ディップスイッチ1」親機側に戻し、「ディップスイッチ4」リセットを実施、「ディップスイッチ1」子機側に戻してください（P47「4-4-2. ディップスイッチで設定できる内容」）。1回路目を連携設定完了してから2回路目を連携設定してください。
- アプリで通信に関するエラーが表示されるもしくは、「メニュー」⇒「ホームページ」を選択し、操作画面が表示されない場合は、再度③項を設定しなおしてください。

## 6-2-2. ルーターによるアクセス

### ✓ ご注意

- ルーターによるアクセスを設定する前に、6-2-1.ダイレクトアクセスを設定してください。
- 必ず2.4Ghzの周波数帯Wi-Fiネットワークに使用してください。

- ①「ホームページ」⇒「設定」⇒「Wi-Fi 設定」⇒を押します。
- ②「クライアント」を選択し、Wi-Fi ルーターの情報を入力します。

Wi-Fi名： ルーターネットワーク名を入力

Wi-Fiパスワード： ルーターのパスワードを入力

IPアドレス設定を選定： Static：手動でIPアドレスを設定する。

DHCP：自動でIPアドレスが割り振りされる。

- ③入力した後、「確定」を押します。親機の接続が切り替わる際に「警告」表示しますので「はい」を選択します。



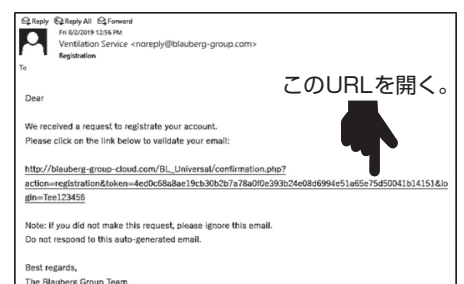
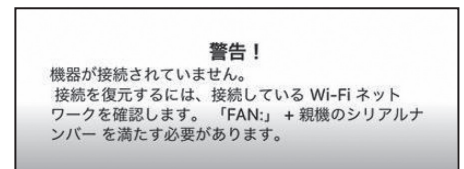
- ④同様に右記「警告」表示しますが、そのままにしておきます。

### ✎ MEMO

- 以下の作業終了後、右記の警告は消えます。
- ⑤スマートフォンの設定で同じルーターネットワークを接続します。
- ⑥「メニュー」⇒「アカウント」⇒を選択し、「新規登録」からアカウントを作成します。
- ⑦作成完了後、アカウントに登録したメールアドレスを確認します。
- ⑧Ventilation Service <noreply@blauberg-group.com> から届いたメール内の URL を開きます。
- ⑨「Your account is already activated!」が表示したら、アカウントの登録完了です。

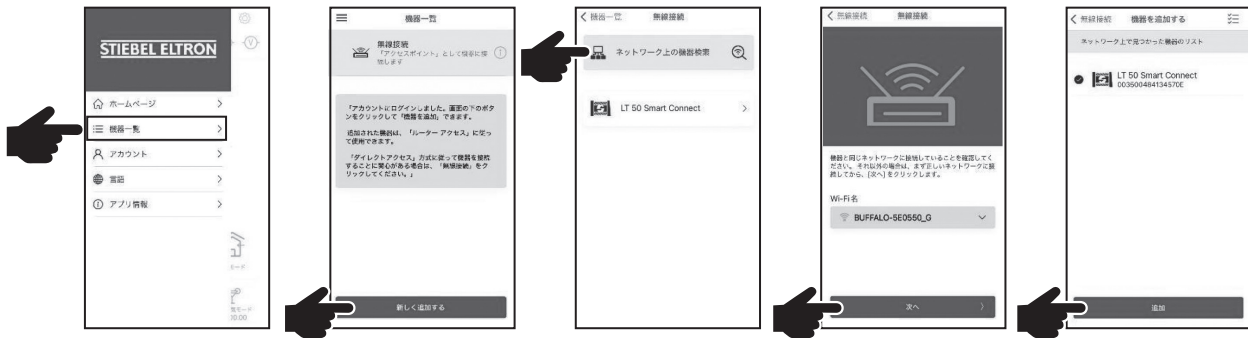
### ✎ MEMO

- メールが届かない場合、「迷惑メール」フォルダに振り分けられている可能性があります。



- ⑩アカウントをログインします。
- ⑪「メニュー」⇒「機器一覧」を押します。
- ⑫「新しく追加する」⇒「ネットワーク上の機器検索」を押します。
- ⑬同じ「Wi-Fi名」を確認し、「次へ」押し、機器を追加します。
- ⑭LT-50 Smart Connectの下に機器のシリアルナンバー（16文字）表示されたことを確認後、「追加」を押します。

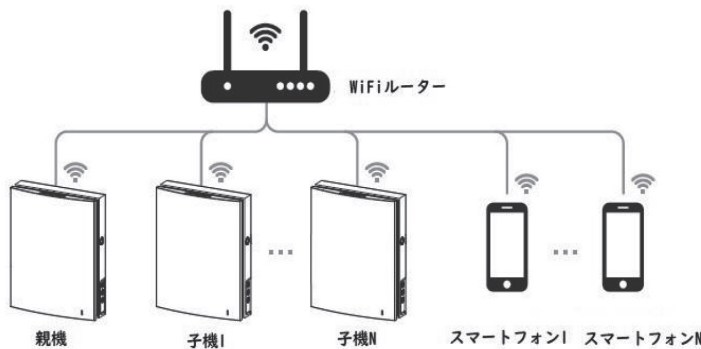
シリアルナンバー（16文字）表示されない場合は、親機はルーターと接続を完了していない可能性があります。必ず「ルーターアクセス」の①～④を設定しなおしてください。



- ⑮「メニュー」⇒「ホームページ」を選択し、完了です。

### ✓ ご注意

- ダイレクトアクセス設定後にルーターによるアクセスに変更した場合は親機と子機の連携が解除（子機のMaster ラップが点滅）される可能性があります。その場合は再度連携設定の必要があります。（取付説明書「5-7.親機と子機接続する」参考）
- 親機とルーター内に20秒以上接続切断の場合、親機の「警告ランプ」が点滅し、親機と子機はスタンバイモード運転します。（3-1項参照）
- 親機とルーター内に20秒以上接続切断もしくはルーター設定を失敗した場合は、初期設定に戻してください。2つ方法があります。
- ① P47「4-4-2. ディップスイッチで設定できる内容」の「ディップスイッチ4」を実施してください。
- ② 親機をSetup modeに設定変更します。P25「3-5. 親機のWi-Fiパスワードを忘れた場合」を実施してください。



Wi-Fiルーター：1台  
 親機：1台  
 子機（スマートフォン含む）：  
 ルーターの接続台数制限ご確認ください。



### 6-2-3. クラウドサーバー

#### ✓ ご注意

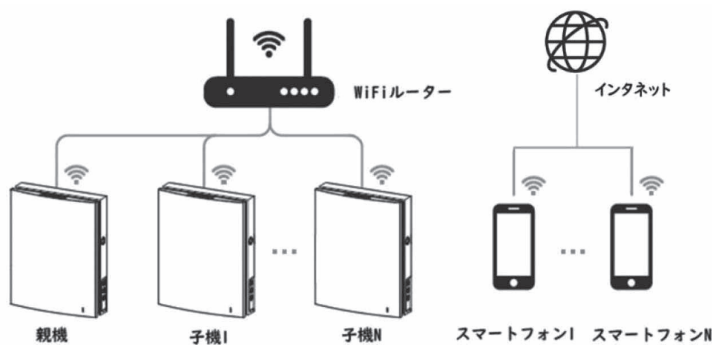
- クラウドサーバーを設定する前に、まず「3-2. ルーターによるアクセス」を設定してください。
- ①「ホームページ」⇒「設定」⇒「Wi-Fi設定」⇒を押します。
- ②「クライアント」を選択し、「クラウドサーバーによる制御」をチェックし、「確定」を押します。
- ③親機の接続が切り替わることで「警告」表示しますが、そのまま切り替わるまで待ちます。



#### ✓ ご注意

- 「メニュー」⇒「ホームページ」を選択し、「警告！」表示した場合、以下を確認してください。
- 「ルーターによるアクセス」を使用した場合、親機とスマートフォンは同じルーターに接続するか確認してください。
- 「クラウドサーバー」を使用した場合、ルーターはインターネットに接続するか確認してください。
- スマートフォンはインターネットに接続するか確認してください。

Wi-Fiルーター：1台



親機：1台

子機（スマートフォン含む）：

ルーターの接続台数制限を確認してください。

- LT-50 SmartのWi-Fi規格はIEEE 802.11 b/g/n 2.4GHzです。5.0GHzの周波数帯Wi-Fiネットワークに接続できません。2.4GHzの周波数帯Wi-Fiネットワークを使用してください。
- ルーターの接続可能上限を超える場合はルーターを変更するかダイレクトアクセスでご使用ください。

## 6-3. 親機のWi-Fiパスワード変更方法

### MEMO

●ダイレクトアクセス接続の場合は、親機のWi-Fiパスワードの初期設定は 11111111 です。

●親機のWi-Fiパスワードを変更できます。

①LT-50 Smart Connect2 アプリを起動します。

②「ホームページ」⇒「設定」⇒「Wi-Fi 設定」⇒を押します。

③「ダイレクトアクセス」を選択して、新 Wi-Fi パスワードを入力し、「確定」を押します。

Open : パスワードなし

WPA PSK : パスワードあり

WPA2 PSK : パスワードあり

WPA/WPA2 PSK : パスワードあり (推奨 : WPA PSKとWPA2 PSKに両方対応となります。)

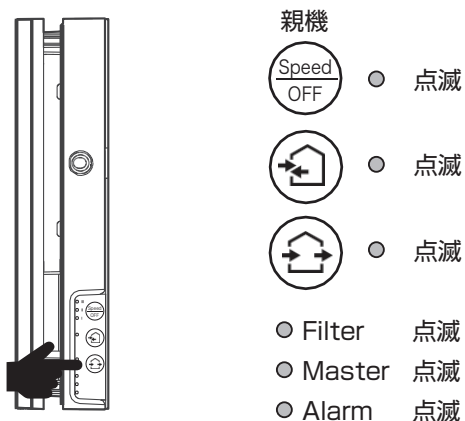


### ✓ ご注意

●初期設定パスワードは一般公開していますので、安全のために、親機のWi-Fiパスワードを変更してください。

## 6-4. 親機のWi-Fiパスワードを忘れた場合

- ① 親機の「換気モードボタン」を3秒以上押し、全LEDランプが点滅することを確認します。



- ② スマートフォンでWi-Fi設定を「ON」して、下記ネットワークを選択します

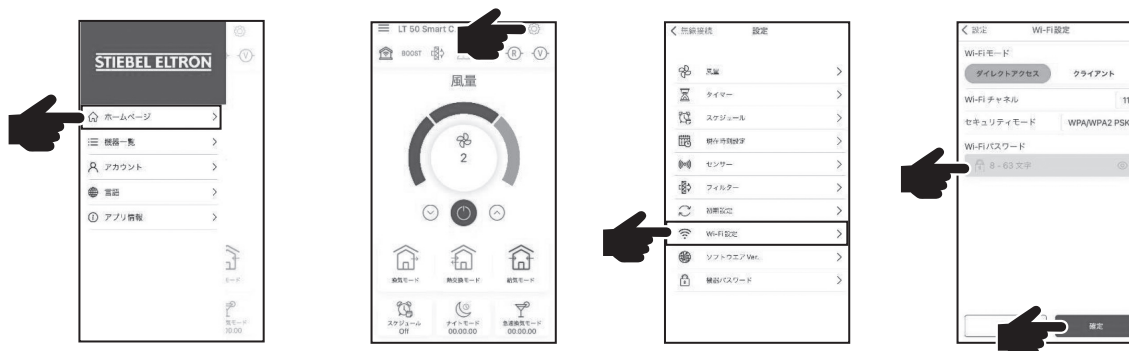
Wi-Fi名： Setup mode

パスワード： 11111111

- ③ LT-50 Smart Connect2 アプリを起動します。

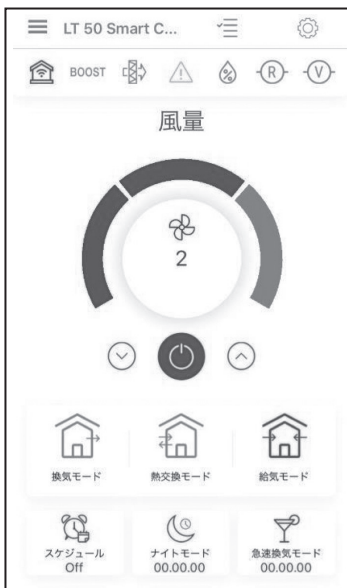
- ④ 「ホームページ」⇒「設定」⇒「Wi-Fi 設定」⇒を押します。

- ⑤ 「ダイレクトアクセス」を選択して、新 Wi-Fi パスワードを入力し、「確定」を押します。



## 6-5. LT-50 Smart Connect 2 の使い方

### 6-5-1. 運転モード



	ON/OFF
	風量設定変更
	風量Ⅰ「弱」/Ⅱ「中」/Ⅲ「強」
	換気モード
	熱交換モード
	給気モード すべての装置本体が給気動作します。
	ナイトモード
	スケジュール運転 装置本体  と  ランプが消灯します。
	急速換気モード
	設定

#### アイコン

ダイレクトアクセス またはルーターアクセス	クラウドサーバー	機器に不具合
湿度センサーにより 風量が自動的に「強」	センサーモード ディレイタイマー有効	フィルターを清掃

### 6-5-2. タイマー

ナイトモード : 約8時間 (初期設定時) 風量Ⅰ「弱」で運転します。その後、設定風量に戻ります。

急速換気モード : 約4時間 (初期設定時) 風量Ⅲ「強」で運転します。その後、設定風量に戻ります。

BOOSTディレイ : 「湿度センサーによる風量設定」を有効にした場合、設定値以下の湿度になった時に、指定時間分、通常運転に戻る時間を遅らせます。



### 6-5-3. センサー

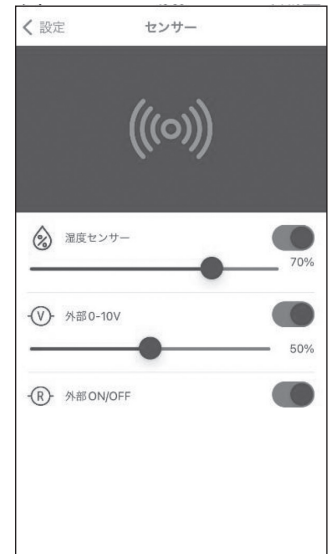
#### 湿度センサー：

湿度センサーによる風量設定、40～80%の範囲で設定できます。親機の湿度センサーが、設定した湿度以上を検知すると自動的に「風量Ⅲ強」運転になります。✓を外すと設定無効です。

例) 40%設定した場合、親機のセンサーの湿度が40%を超えると、設定風量に関係なく、自動的に風量Ⅲ（強）で運転します。湿度が40%未満になると設定風量に戻ります。

外部0-10V：使用しません。

外部ON/OFF：使用しません。



### 6-5-4. スケジュール

#### ✓ご注意

●スケジュール設定する前に、現在時刻を設定してください。

①スケジュール運転の設定です。

例) 月曜日：8：00～22：00風量Ⅲ運転、22：00～8：00風量Ⅰを設定できます。

曜日設定：月曜日～日曜日を設定します。

時刻：時刻設定 00：00～24：00を設定します。

風量：風量Ⅰ／Ⅱ／Ⅲを設定します。



### 6-6-5. 現在時刻設定

①本製品の日付と時刻を手動設定します。

携帯電話と同期する：スマートフォンと同じ日付と時刻を自動設定します。



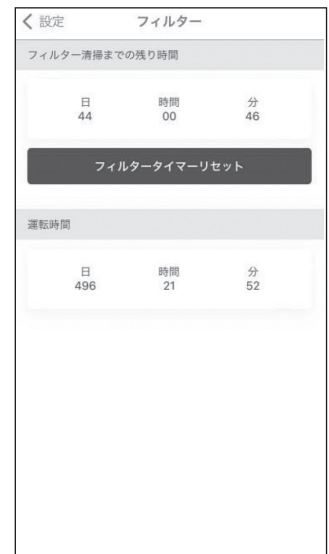
## 6-5-6. フィルター

本製品のフィルターと運電時間の情報です。

フィルター清掃までの残り時間：フィルター清掃までの残り時間です。

フィルタータイマーリセット：リセットした場合、フィルター清掃までの残り時間は90日に戻ります。

運転時間：機器の運転時間です。



## 6-5-7. 初期設定

初期設定に戻す：本製品のすべての設定を初期設定の状態に戻します。

### ✓ ご注意

●初期設定に戻した場合はすべて設定した内容を失う可能性があります。

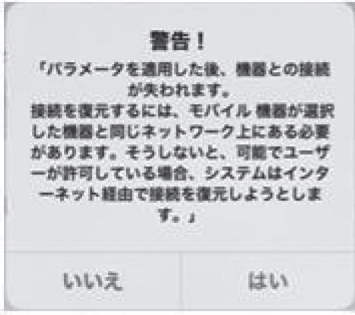
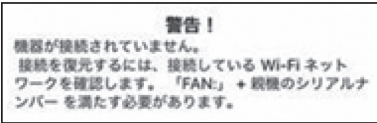
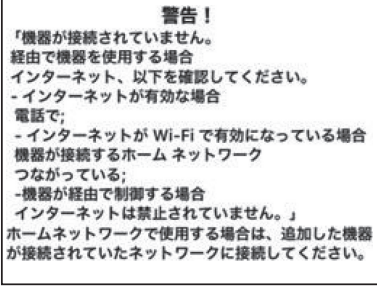


## 6-5-8. 機器パスワード

機器のパスワードの変更です。



## 6-5-9. こんなときは？

	現象	対応方法
ダイレクトアクセス	利用可能なネットワークに機器のシリアルナンバーが表示されない。	「+ネットワークを追加」を押して、機器のシリアルナンバーを「FAN：シリアルナンバー」を入力して探してください。
ルーターによるアクセス	下図の警告が表示された。 	機器をルーターに接続するために、一時的に機器とスマートフォン間のアクセスが途切れることへの警告です。 「はい」を選択してください。
ルーターによるアクセス	下図の警告が表示された。 	ダイレクトアクセスからルーターアクセスに切り替えた後に表示されます。 スマートフォンを機器と同じルーターに接続することで消えます。
全てのアクセス	下図の警告が長時間表示される。  親機の接続が切り替わる際に上記の「警告」一時的に表示しますが、切り替わった後で消えます。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 機器のブレーカが「切」(OFF)の可能性があります。機器の電源が「入」(ON)であることを確認してください。</li> <li>② ルーターの電源が切れている可能性があります。ルーターの電源が入っていることを確認してください。</li> <li>③ 機器とスマートフォン間の接続がうまくいっていない可能性があります。5-1-2項でリセットを行ない、3項からやり直してください。</li> </ol>

# 7. 故障かな?と思ったら

現象	確かめること	処置の方法	参照ページ
ファンが回らない。	ブレーカを確認します。	ブレーカを「入」(ON)にします。	—
	親機右側面にある操作ボタンを押します。	装置本体の右側面にある (Speed/OFF) ボタンを押し、風量Ⅲ (ランプが3つ点灯) にします。	P8「4-2.」
	親機に向けてリモコン (オプション品リモコン使用時) 操作をします。	親機右側面にある操作ボタンを押して回った場合は、リモコンの電池を交換します。	P9「4-3.」 P18「5-4.」
	ファンの周囲を確認します。	異物が挟まっている場合は取り除きます。	P11「5-2.」
異音がする。	外気フードの固定状態を確認します。	外気フード本体をしっかり5本のネジで固定します。	P17「5-3.」
	ファンの周囲を確認します。	異物が挟まっている場合は取り除きます。	P11「5-2.」
	パイプ内を確認します。	パイプ内に異物がある場合は、取り除きます。	P11「5-2.」
風量が少ない。	親機右側面にある操作ボタンを使う場合	親機右側面にある (Speed/OFF) ボタンを押して風量Ⅲ (ランプが3つ点灯) にします。	P8「4-2.」
親機と子機で給排気動作が異なる。	運転モードを確認してください。	「熱交換モード」では正常動作です。機器を「給気モード」または「排気モード」に設定すると同一の動作になります。	P7「4-1.」
リモコンの操作ができない。	複数台ある場合、親機と子機を確認してください。	複数台ある場合は、リモコンを親機に向けて操作します。親機は右側面の (Master) ランプが点灯します。	P9「4-3.」
	リモコンの電池	リモコンの電池を交換します。	P18「5-4.」
通信不良	ディップスイッチ	ディップスイッチ1の確認	P47「4-4.」
	スマートフォンの設定	スマートフォンと親機の接続を確認します。	P20「6-2-1.」
	ルーターの設定	ルーターによるアクセスが可能か確認します。	P21「6-2-2.」
	クラウドサーバーの設定	クラウドサーバーによるアクセスが可能か確認します。	P22「6-2-3.」
警告ランプが点灯している。	本体のコネクタが外れていないか確認します。	コネクタをしっかりと接続します。	P14「5-2-3.」

上記以外の現象、または上記で問題が解決しない場合は、次ページ「8. 点検および修理について」をご参照のうえ、日本スティーベル (株) に問い合わせください。

次の場合は、故障ではありません。

現象	原因	対策
機器により表示ランプの明るさが異なる。	機器により多少の明るさの違いがあります。	—
カラカラと音がる。	室内温湿度、外気湿度、風速の条件によりファンユニットモジュールの外壁側に着氷している可能性があります。	風量を一時的に「強」に設定して解氷します。それでも音が継続する場合はファンユニットを取り出し、ファン周囲の着氷を解氷、乾燥させた上で再装着してください。
風が強い日に機器が停止する。	一定の風速以上が外から吹き込む環境になると機器が自動停止します。	前面プレートを閉じます。



# 8. 点検および修理について

---

## (1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

---

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書P30「7.故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

日本スティーベル(株)

**TEL: 03-5715-4655**

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ① 型名：銘板ラベルに併記
- ② 製造番号：銘板ラベルに併記
- ③ 不具合の内容：ファンが動作しないなどの症状、及びご使用条件
- ④ お取付け年月日
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

## (2) 補修用部品の最低保有期間について

---

補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

## (3) 保証について

---

この機器は、お取付け日から3年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」「お取付け日」「製造番号」等の記入をお確かめになり保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、消耗品を除き、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

### **ご注意**

お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

電気の配線工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象にはなりませんので、予めご了承ください。

# 9. 仕様

型名	LT-50Smart			
定格電圧	100V 50/60Hz			
前面プレート寸法 (mm)	幅 235 × 高さ 285 × 奥行71 (全開時)			
小型外気フード寸法 (mm)	幅254 × 高さ203 × 奥行121			
深型小型外気フード寸法 (mm)	幅254 × 高さ203 × 奥行183			
外気フード材質	SUS304 シルバー塗装/白色塗装/黒色塗装/茶色塗 (S/W/B/CB) ねじ: SUS304			
パイプ長さ (mm)	350mm			
設定風量レベル	弱	中	強	
風量 (m³/h)	15	30	50	
消費電力 (W)	4.45	5.08	7.06	
比消費電力 (W/m³/h)	0.59	0.34	0.28	
騒音 (dB (A))※1	12	21	31	
本体質量 (kg)	前面プレート+設置プレート	0.94		
	ファンユニットモジュール	1.80		
	小型外気フード	1.10		
	深型小型外気フード	1.83		
ダクト接続口径	φ160			
エンタルピー交換率 (%)※2	暖房条件	86	80	73
	冷房条件	77	71	65
温度 (顕熱) 交換率 (%)※2	暖房条件	91	85	78
	冷房条件	89	84	76
許容周囲温度 (°C)	-20~40			
オプション品	リモコン、防火パイプ、防火ダンパー			

※1: ISO 3740、ISO 3741 規格に準拠。 ※2: DIN 24163、EN 13141-8 規格に準拠

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

### < 機器への表示内容 >

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本体に表示しています。



【製造年】 年  
【設計上の標準使用期間】 10年  
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

### < 設計上の標準使用期間とは >

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件 (下表による) に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

機器の設計上の標準使用期間は、製造年を始期としJIS C9921-2に基づいて下記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。

○「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

### ■標準使用条件 JIS C9921-2 による

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	20°C	JIS C9603から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気8760時間/年	

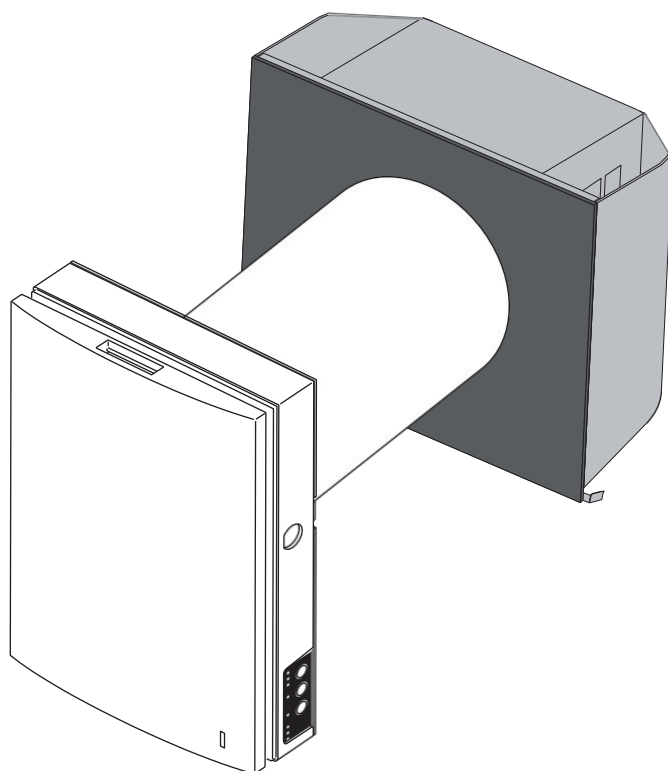
**STIEBEL ELTRON**

交互給排型  
第一種熱交換換気システム

# 取付説明書

(保証書付)

型名…… LT-50Smartシリーズ



## 取付工事店様へ



- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客さまにご使用いただくために、取扱説明書並びに取付説明書のP34.「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。

日本スティーベル株式会社




# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
--	---

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 <b>禁止マーク</b>	してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b>	注意することを示します。
 <b>指示マーク</b>	必ず行なうことを示します。

## 警告

### 禁止



絶対に改造はしないでください。



取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指示されている付属部品以外は使用しないでください。



機器本体に100V以外の屋内配線を接続しないでください。



濡れた手で機器を操作しないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。



湿気が多い場所や、浴室内には設置しないでください。また、機器に水がかからないようにしてください。



床面や天井面に設置するのは、絶対におやめください。



機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



外気フードは、燃焼ガスや住宅の排気を吸い込む位置、積雪等で埋もれる位置には設置しないでください。

## 注意



電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。

## 指示



機器の下表の離隔距離を守って設置してください。

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	150mm以上	150mm以上	150mm以上	150mm以上	800mm以上



設置用プレートが正しく取り付けられ、機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。



仕様、定格電流、及び消費電力を銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って配線を正しく行なってください。



必ず専用のブレーカを1台設置してください。



電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。

## 注意

---



本製品は全てのWi-Fi対応機器との接続動作を確認しておりません。したがって全てのWi-Fi対応機器との動作を保証するものではありません。

## 禁止



設置前の機器は、雨水が当たる場所に置かないでください。



機器に荷重を掛けたりしないでください。



パイプの延長や、ダクト等への接続は行なわないでください。



機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡さず、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。



機器内部の電気部品または換気用の電気部品は指定された機器以外には使用しないでください。

## 指示



換気計算に基づいて選定した数の機器を設置してください。



機器は必ず機器の質量に耐えることができる壁に固定してください。設置場所の選定にあたっては、背面固定のできる場所を選んでください。



パイプは、室内側から室外側に向かって下り勾配になるようにしてください。



外気フードは、同梱の外気フードをご使用ください。

- ❗ 地区計画等で指定がある場合や、防火区画を貫通する場所には、「防火パイプセット、防火ダンパー」をご使用ください。
- ❗ 気密テープは、経年劣化の少ないテープまたはシール等を使用してください。
- ❗ 取付けの際は、作業用手袋を着用してください。（板金部品で怪我をすることがあります。）
- ❗ 仕上げ材及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着剤などにはホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。
- ❗ 設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。
- ❗ 空気環境基準の設定、必要換気量の算出等の換気設計、機器の設置場所の選定等は、機器の性能を考慮する必要があります。建築会社または専門の担当者以外には依頼しないでください。
- ❗ 取扱説明書の保証書にお客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必要事項を記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。
- ❗ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等の代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ❗ 取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようお願いしてください。
- ❗ 本製品は電子レンジなどの家電製品の周辺や磁場・静電気・電波障害（無線機や放送局の近くを含む）が発生する場所では使用できない場合があります。万一他の機器と電波干渉が発生した場合は電波を発生する機器の使用を停止してください。
- ❗ Wi-Fi機器が使用する2.4GHz帯は、様々な機器が使用する帯域です。Wi-Fi機器は同じ帯域を使用する機器からの影響を受ける場合があります。正常動作中でも通信距離が低下したり、通信が切断する場合があります。
- ❗ 設置場所の構造など様々な要因により、接続の不具合が生じる場合があります。また、操作中の反応も不安定になる場合があります。手順通りの反応がない場合は再度同じ操作をする/しばらく待つ/アプリや本製品の再起動などをお試しください。
- ❗ 必ずディップスイッチ1の設定を行ない、引き渡しの際に親機がお客様にわかるようにしてください。

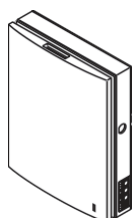
## 2. 梱包品の内容

梱包の中に以下のものが含まれることを確認します。

例) LT-50Smart    S D F K の場合  
 ①                      ② ③ ④ ⑤

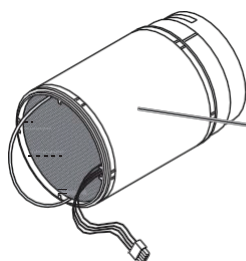
①	機器名称	LT-50Smart
②	外気フード色	S:シルバー / W:白色 / B:黒色 / CB:茶色
③	オプション品	無記載:なし / D:防火ダンパー
④	外気フードタイプ	無記載:標準 / F:深型
⑤	外気フードサイズ	K:小型

装置本体×1個



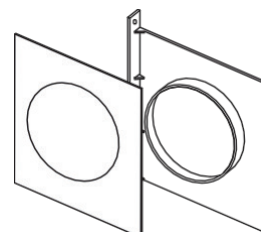
※構成内容  
 ・前面プレート  
 ・設置用プレート

ファンユニットモジュール×1個

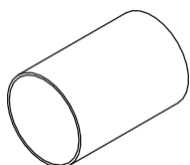


ファンユニットモジュール内部に全熱交換素子を内蔵しています。

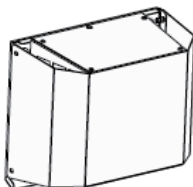
気密フランジ・気密ラバー×1個



パイプ (350mm) ×1本



小型外気フード又は深型小型外気フード (取付ベース付き) ×1個



※製品型番によって、シルバー色/白色/黒色/茶色のいずれかになります。

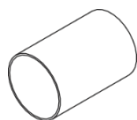
型紙

取扱・取付説明書×1部

ECサイトラベル×1枚

フランジテープ×1本

### オプション品



防火パイプ (DFK、またはオプション購入時)



リモコン (テスト用ボタン電池付き)



防火ダンパー (④のDの記載あり、またはオプション購入時)

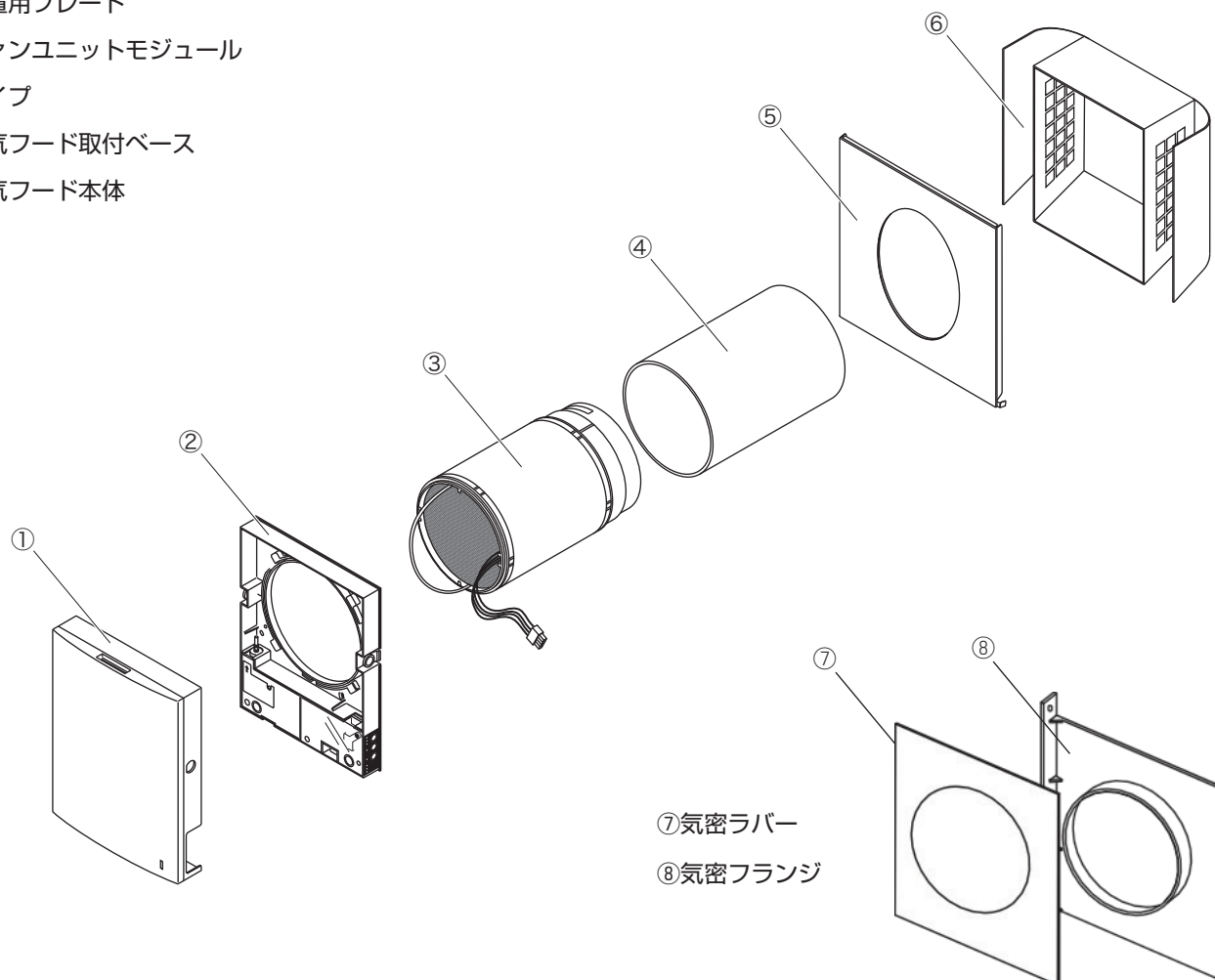
### ✓ ご注意

設置用プレート、外気フードを壁面に取り付けるネジは同梱しておりませんので、適宜、現場調達ください。

# 3. 各部のなまえ

## ■システム全体

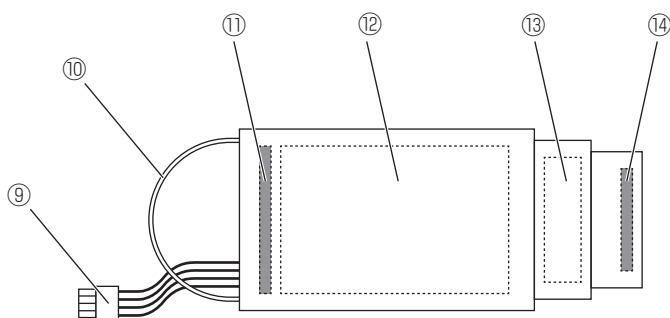
- ①前面プレート(前後に開閉可能です→P60)
- ②設置用プレート
- ③ファンユニットモジュール
- ④パイプ
- ⑤外気フード取付ベース
- ⑥外気フード本体



## ■ファンユニットモジュール内部

- ⑨コネクタ
- ⑩引き出しワイヤー
- ⑪フィルター (室内側)
- ⑫全熱交換素子 ※
- ⑬ファン ※
- ⑭フィルター (室外側)

※モジュール内に固定で取り外せません。



## ■リモコン (オプション品)

取扱説明書P6「3. 各部のなまえ」をご参照ください。



# 4. 設計・施工の前に

## 4-1. 事前の確認事項

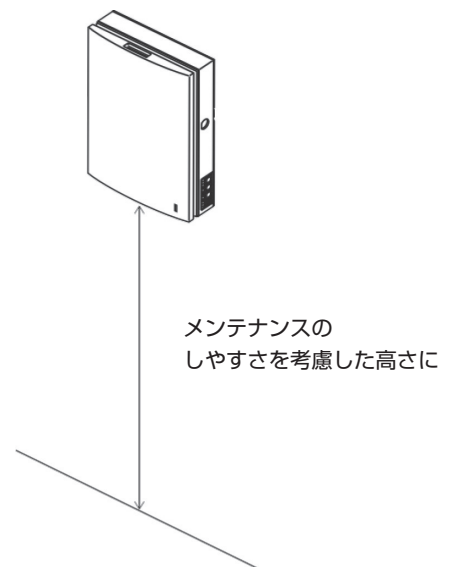
- 機器を使用するには、装置本体の取り付けスペースが必要です。設置場所の壁厚をお調べのうえ、P44～P46の図面を参考に機器および部材の収まりを確認してください。また、機器を設置する位置周辺にパイプを固定するための「気密フランジ（または同等品）」を取り付けることができる構造体があることを確認してください。
- オプション品の「防火パイプ」が必要であるかを確認してください。また、防火地域など「防火ダンパー」が必要な場合は、「防火パイプセット」をご使用ください。
- 防火ダンパーを使用する場合は、防火パイプとセットで使用されることをお勧めします。
- 機器を使用するには、電源工事が必要です。このあとの説明をお読みになり、あらかじめ工事を済ませてください。
- 外装仕上の下地にメタルラスなどの金属が使用されている場合に、オプションの防火パイプを使用するときは、互いに導通しないように絶縁処理を施してください。

### ■機器の設置箇所について

- 装置本体は、常に新鮮な空気を室内に取り入れていただくため、お客様に定期的なフィルター清掃をお願いしております。そのため、装置本体はお客様がメンテナンスが可能な位置を目安に設置してください。
- 機器以外の排気口や排ガス等の影響がない場所に機器を設置してください。
- 機器を並べて設置しないように設計してください。

### ■発泡性断熱材を使用する場合

- 発泡性の断熱材を使用する場合は、付属のパイプを变形させてしまう恐れがあります。使用の際は十分にご注意ください。



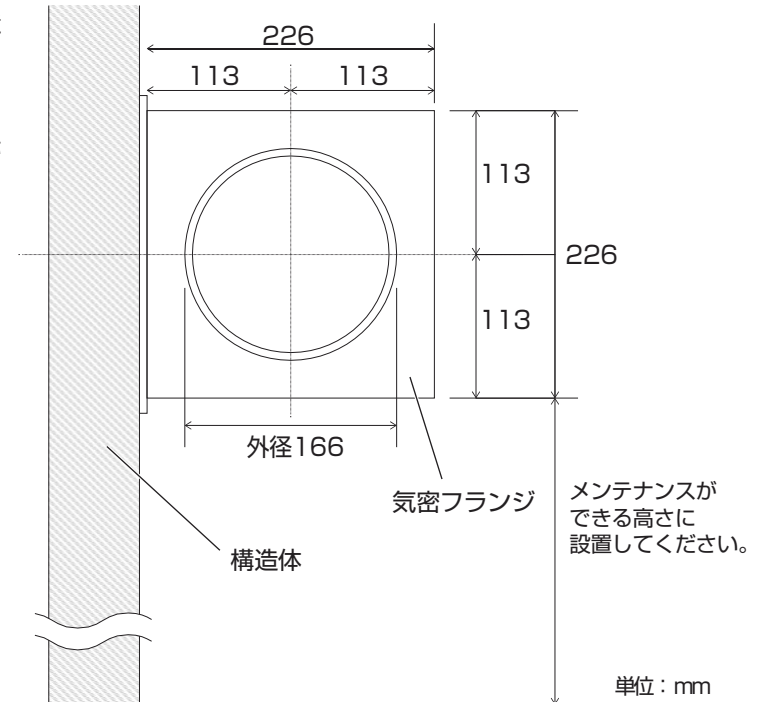
## 4-2. 事前に必要な工事について

機器を使用するには、設置場所の確保および木工事などの事前工事が必要です。また、各種配線作業が必要です。

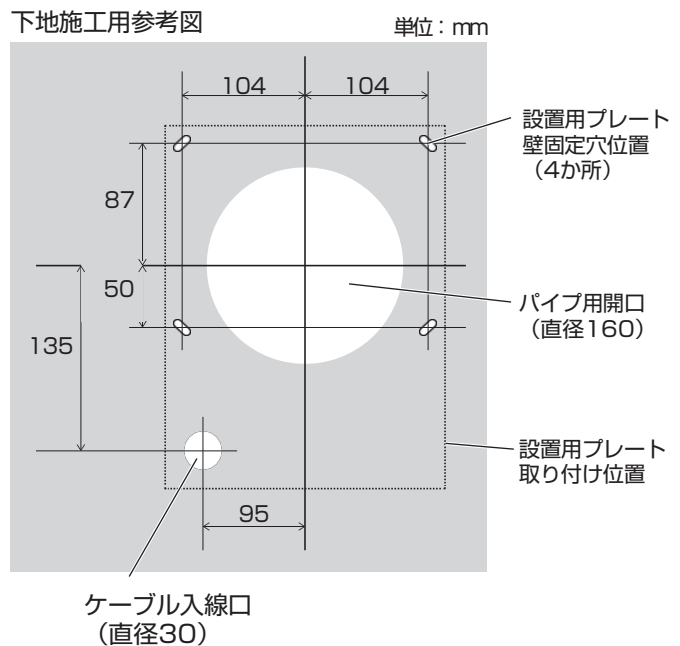
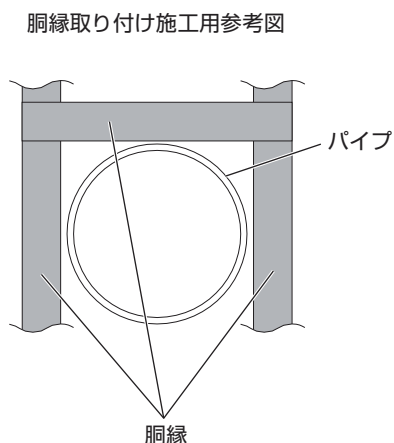
### 4-2-1. 設置場所の確保と木工事

機器を設置する場所を確保しておく必要があります。下図を参考に構造物の構造体に機器を設置する場所を確保してください。

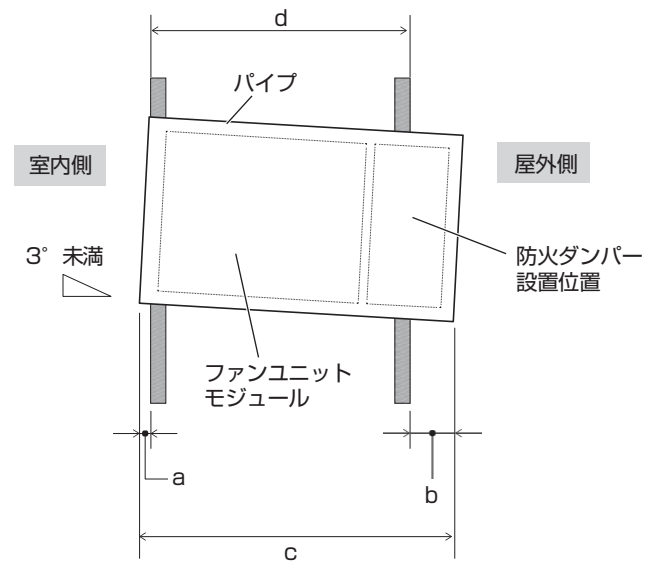
- パイプを固定するために、付属の気密フランジを構造体等に取り付けて固定する必要があります。
- 機器は、定期的にフィルターの清掃などのお手入れが必要です。お客様がお手入れできる位置に設置してください。



- 室内側壁面に「設置用プレート」を取り付けるための下地を準備することをお勧めします。設置用プレートは木ネジ等 (M4 相当) を使って4 か所で固定します。また、必要に応じて木枠 (胴縁等) を取り付けてください。



- 室内側への雨水の侵入を防ぐために、室内側が3°未満になるように設定してください。逆勾配にならないように注意してください。
- パイプの長さは壁面の厚みを考慮し、適切な長さにカットしてから固定してください。



フード種別	a	b	c		d	
			標準仕様	防火仕様	標準仕様	防火仕様
小型	0	10-80	220-350	280-350	140-340	210-340
小型深型		10-140			120-340	140-340

単位：mm

## 4-2-2. 配線工事

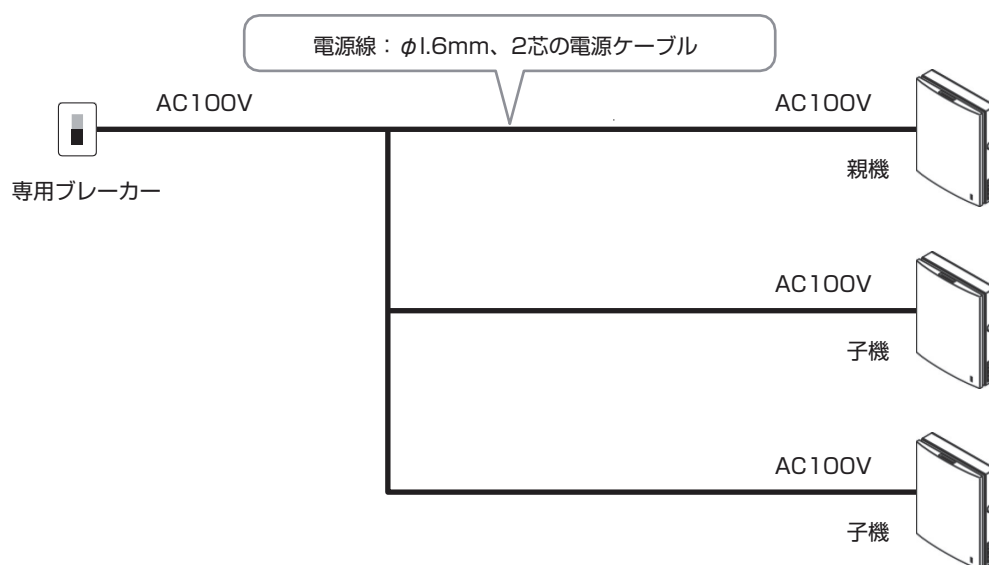
機器を設置する場所には、装置本体のファンを動作させるために電源線が必要です。設置の前に以下の配線工事を完了しておいてください。なお、専用のブレーカを設置してください。

電源線	ブレーカ～各装置本体	φ 1.6mm、2 芯の電源ケーブル (現場手配)
-----	------------	---------------------------

### ■配線参考図 (3台設置の例)

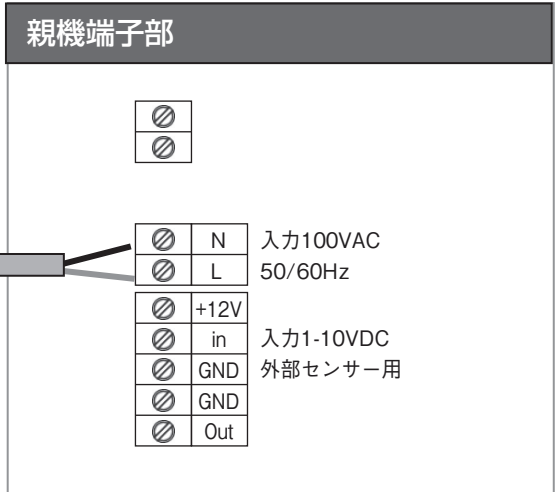
電源線は、ブレーカより配線し、各装置本体には分岐させるなどして配線してください。

### ■結線図詳細

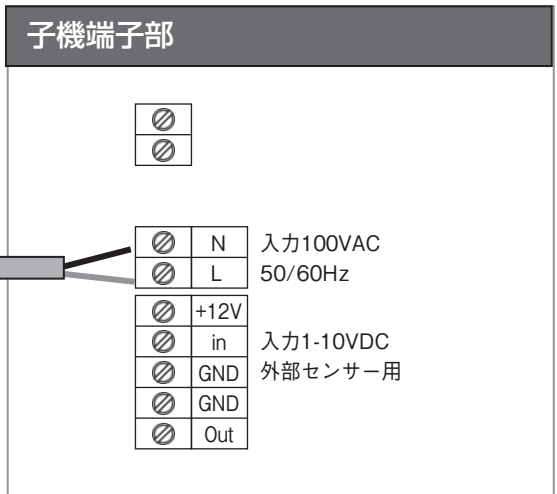


例 1

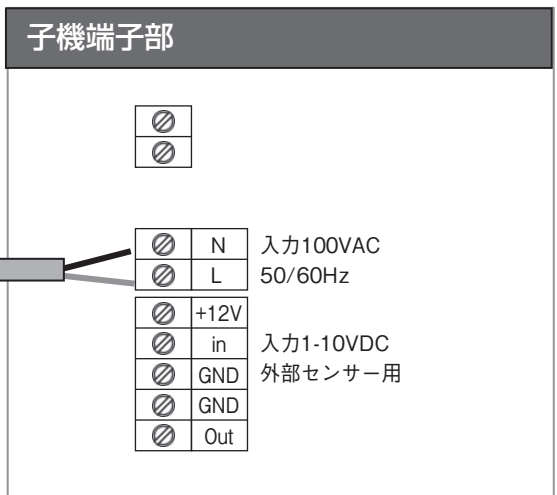
電源線：  
φ1.6mm、2芯の  
電源ケーブル  
(現地手配)



電源線：  
φ1.6mm、2芯の  
電源ケーブル  
(現地手配)



電源線：  
φ1.6mm、2芯の  
電源ケーブル  
(現地手配)

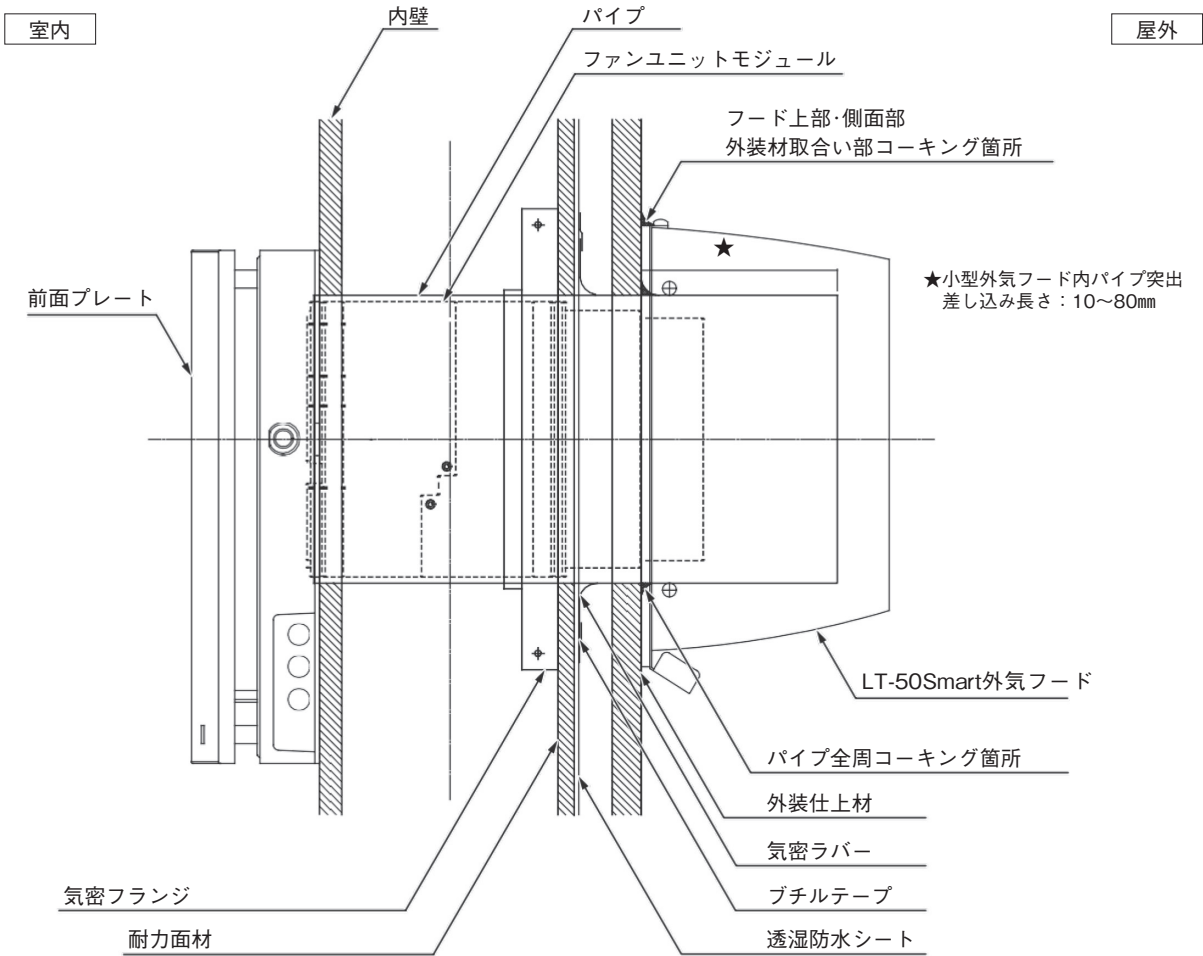


### 4-3. 設計・施工参考図

防火ダンパーを使用する場合と、使用しない場合で、施工時の構成に違いがあります。設計・施工時の参考にしてください。部材の位置関係や屋外側のコーキング場所等も示しています。

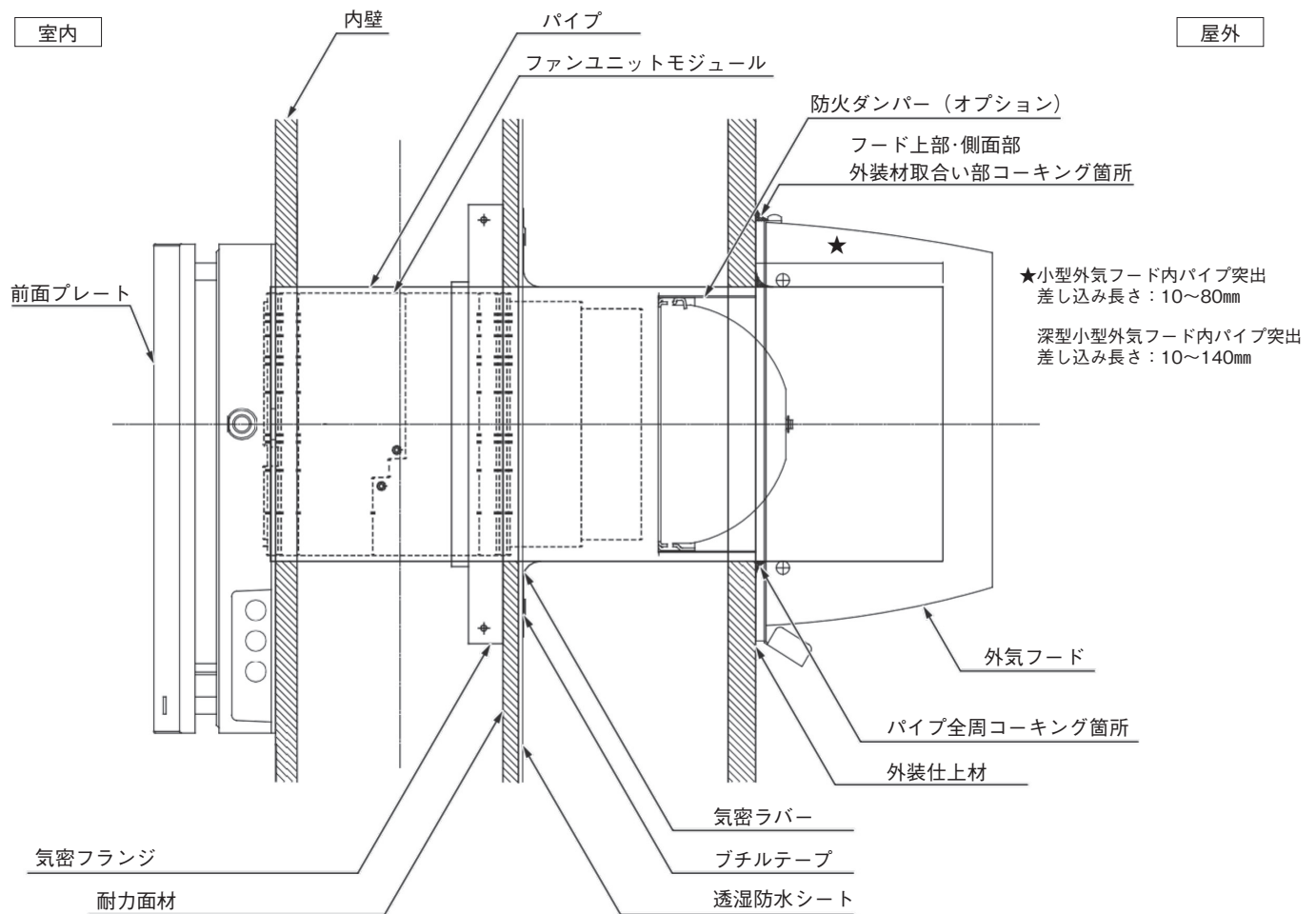
#### 4-3-1. 防火ダンパーを使用しない場合

オプション品の防火ダンパーを使用しない場合は、下図を参考に設計・施工してください。

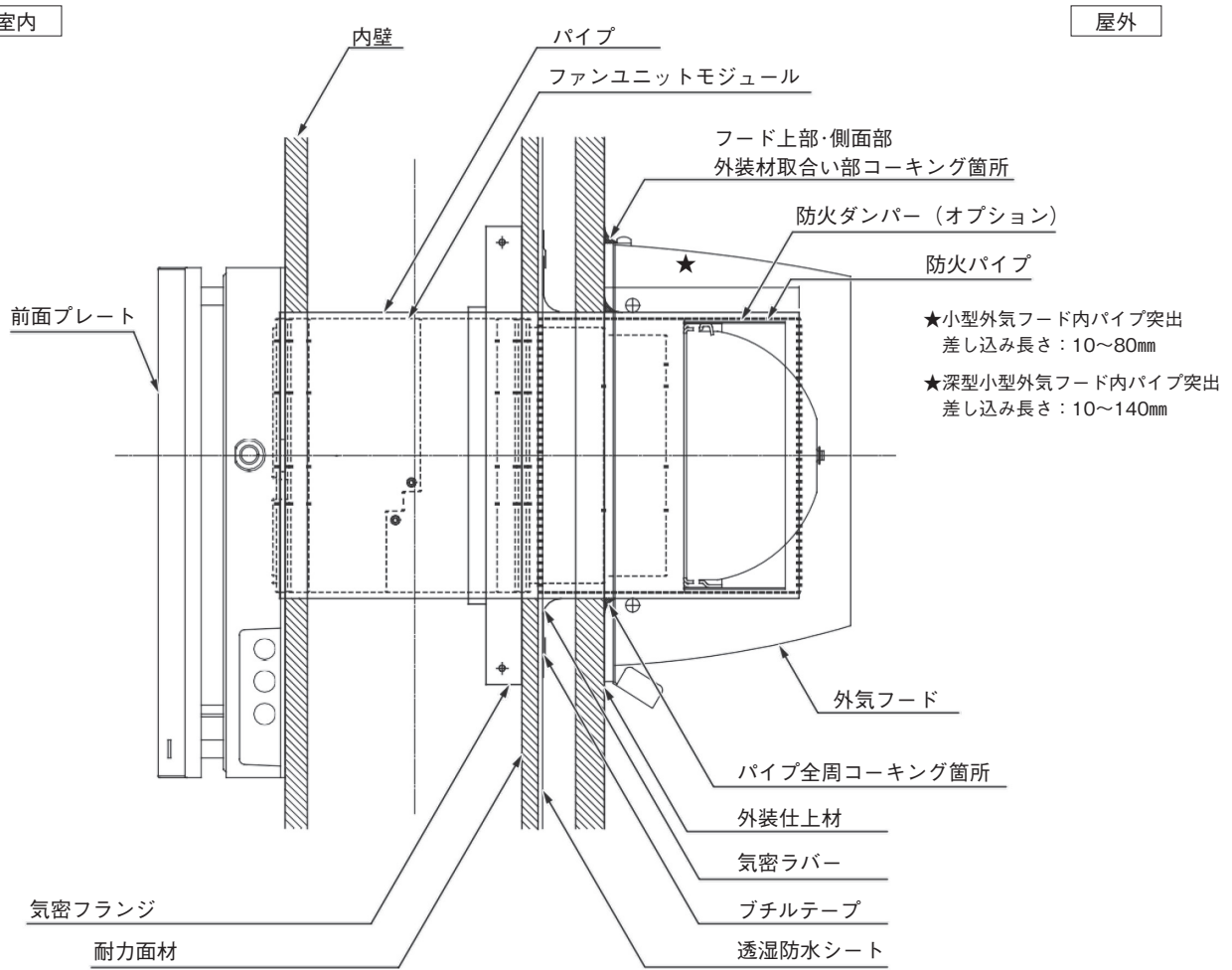


## 4-3-2. 防火ダンパーを使用する場合

オプション品の防火ダンパーを使用する場合は、下図を参考に設計・施工してください。オプション品の防火パイプを使用する場合は、標準で付属のパイプに防火パイプを挿入してください。



■オプションの防火パイプ使用時





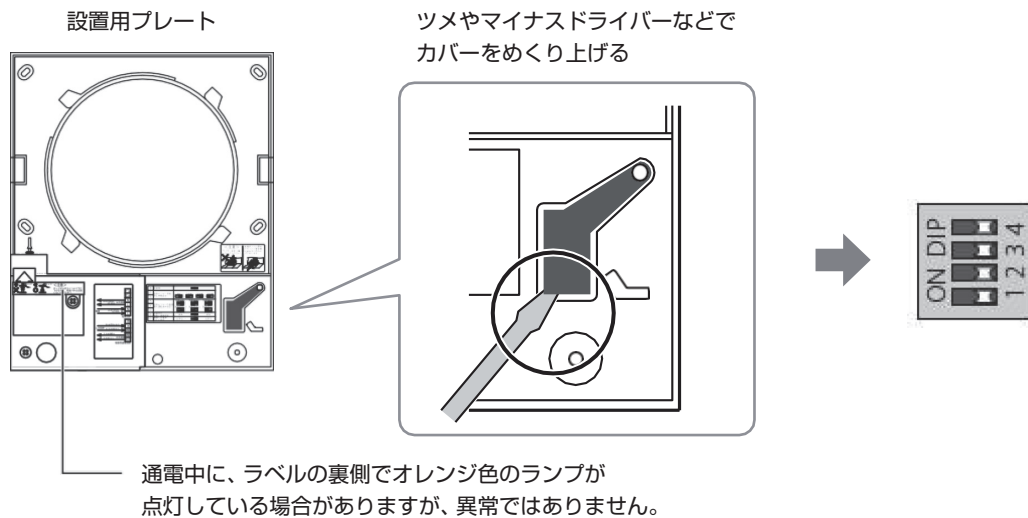
## 4-4. ディップスイッチ

ご使用になる環境や条件によって、装置本体にあるディップスイッチを変更する必要があります。必要に応じてディップスイッチの設定を変更してください。

### 4-4-1. ディップスイッチの位置

#### ✓ ご注意

結線済みの場合は、安全のためブレーカを「切」(OFF) にしてから設定してください。



### 4-4-2. ディップスイッチで設定できる内容

#### ディップスイッチ1 親機・子機の設定

親機・子機を設定します。

	親機	親機になります。
	子機	子機になります。【初期値】

親機を変更する場合は、必ず全ての子機のディップスイッチを一旦右側にした後に子機設定に戻してください。

#### ディップスイッチ2 スタンバイモード操作の無効設定

リモコンおよび装置本体右側面にある操作ボタンによる電源オフを可能にするかを設定します。

通常、機器は24時間連続で運転します。誤って換気が停止することのないように電源オフ時に最小風量運転で行う設定が可能です。換気を停止するときは、ブレーカを「切」(OFF) にします。

初期値：オフ操作可能

	オフ可能	リモコン、アプリおよび装置本体右側面にある操作ボタンによる換気運転停止を可能にします。【初期値】
	オフ不可	リモコン、アプリおよび装置本体右側面にある操作ボタンによる換気運転停止時に最小風量で運転します。

### ディップスイッチ3 給気動作・排気動作の指定



換気モード時のファンの動作状態を設定します。

OFF側に設定：換気モード時は、常に排気動作になります。

ON側に設定：換気モード時は、常に給気動作になります。

全体で半数ずつになるように設定してください。

初期値：給気動作

	排気スタート	換気モード時は、常に排気動作になります。[初期値] 熱交換モード時は、排気動作から始まります。
	給気スタート	換気モード時は、常に給気動作になります。 熱交換モード時は、給気動作から始まります。



### ディップスイッチ4 リセット

本製品のすべての設定を初期設定の状態に戻します。

OFF側に設定：なし。

ON側に設定：換気している時、ONに設定した場合、「ピープ」音が聞こえ、本製品のすべての設定を初期設定の状態に戻します。初期設定に戻した場合、このディップスイッチをOFF設定してください。

初期値：OFF側に設定

	なし	[初期値]
	初期設定に戻す	初期設定の状態に戻します。

# 5. 設置の手順

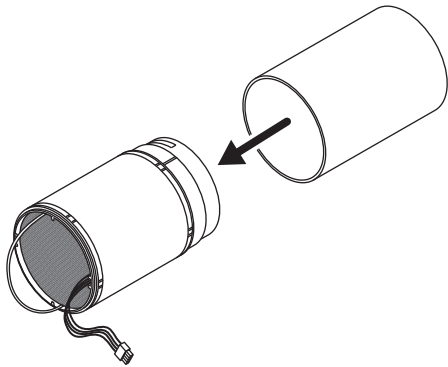
## 5-1. 設置の流れ

現場では、以下の流れで作業を進めてください。

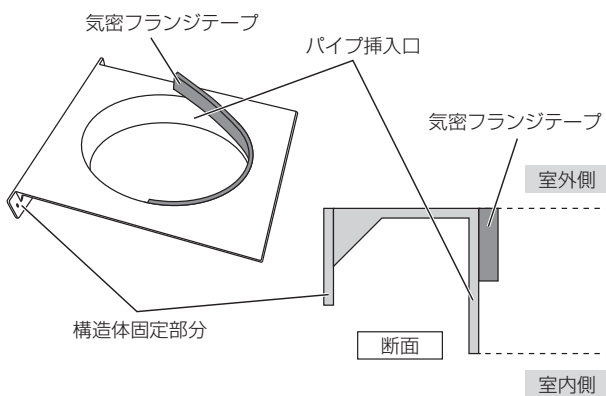
<b>1</b>	<b>5-2. パイプの取り付け</b> →P50
<ul style="list-style-type: none"><li>●梱包品のパイプに含まれるファンユニットモジュールは取り出して保管します。</li><li>●構造体に気密フランジを固定し、パイプをセットします。</li><li>●パイプは外部から水の浸入を防ぐため、室外側に向けて3°未満の下り勾配になるように設置します。</li><li>●設置用プレートの取り付けの下地として木枠（胴縁等）を取り付けます。</li></ul>	
↓	
<b>2</b>	<b>5-3. 配線作業</b> →P42・54
<ul style="list-style-type: none"><li>●室内の天井・壁面の下地材を施工する前に、各装置本体への配線をします。</li></ul>	
↓	
<b>3</b>	<b>5-4. 内装工事・防水工事のときの作業</b> →P54
<ul style="list-style-type: none"><li>●室内の壁面の下地材にパイプおよびケーブル用の開口を開けて仕上げます。</li><li>●外壁とパイプのすき間に防水処理をします。</li></ul>	
↓	
<b>4</b>	<b>5-5. 外気フードの取り付け</b> →P55
<ul style="list-style-type: none"><li>●外気フードを外壁に固定し、防水処理をします。</li></ul> <p>※ 2階以上の高い位置に外気フードを設置する場合は、外壁の足場が解体される前に作業を済ませておきます。</p>	
↓	
<b>5</b>	<b>5-6. 装置本体の取り付け</b> →P57
<ul style="list-style-type: none"><li>●設置用プレートの端子に電源線を接続します。</li><li>●ファンユニットモジュールの端子を設置用プレートに接続します。</li><li>●前面プレートを取り付けます。</li></ul> <p>※防火ダンパーを使用している場合は、防火ダンパーを取り付けます。</p>	
↓	
<b>6</b>	<b>5-7. 親機と子機接続する</b> →P47・62
<ul style="list-style-type: none"><li>●親機と子機を接続します。</li></ul>	
↓	
<b>7</b>	<b>5-8. 試運転をする</b> →P64
<ul style="list-style-type: none"><li>●試運転で機器が正常に動作することを確認します。</li><li>●本説明書の前半は、取扱説明書になっております。お客様にお渡しください。</li></ul>	

## 5-2. パイプの取り付け

**1** パイプからファンユニットモジュールを取り出しておきます。



**2** 気密フランジのパイプ挿入口の内側に、付属の気密フランジテープを貼り付けます。



●ファンユニットモジュールは、必要になるまで、安全な場所で保管しておきます。

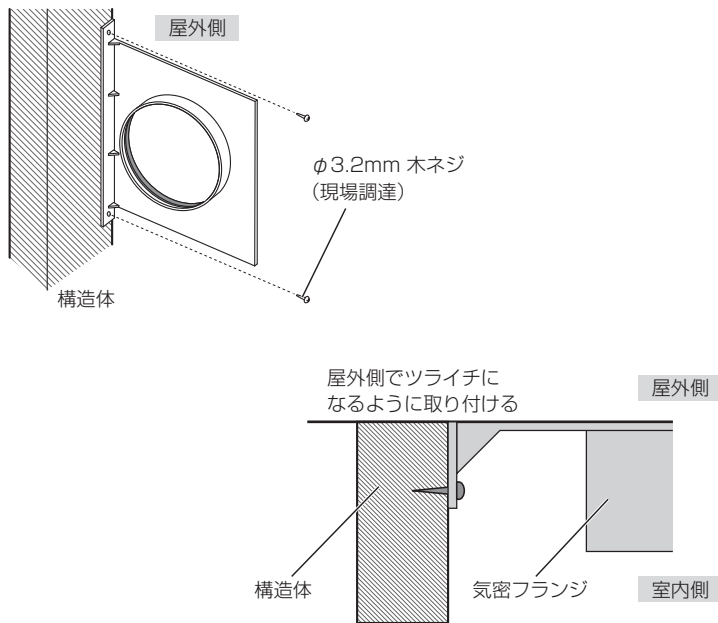
●本体の取り付けに関する準備の詳細については、P40「4-2-1.設置場所の確保と木工事」をお読みください。

●配線に関する詳細については、P42「4-2-2.配線工事」をお読みください。

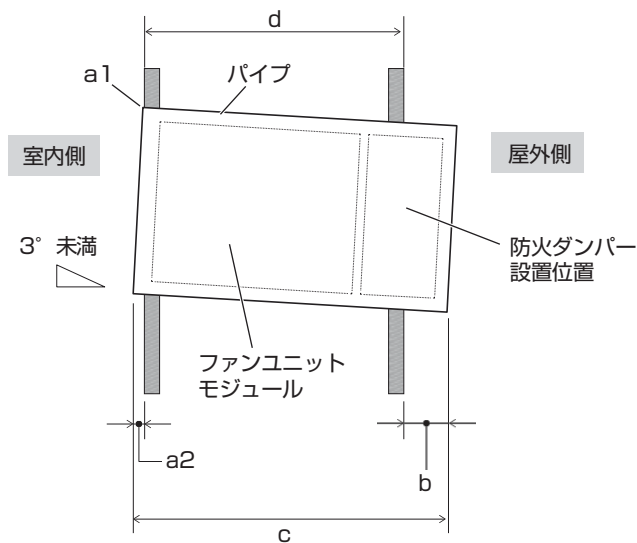
●気密フランジテープのはくり紙をはがして貼り付けます。内周全体のうち半周～1/4周程度貼り付けます。全周に貼り付けるとパイプが入りづらくなる場合があります。

●イラストのように、気密フランジテープは室外側の面にぴったり収まるように貼り付けます。

- 3** 気密フランジを設置場所にある間柱等の構造体に $\phi 3.2\text{mm}$ の木ネジを使って固定します。屋外側で気密フランジと構造体がツライチになるように取り付けます。



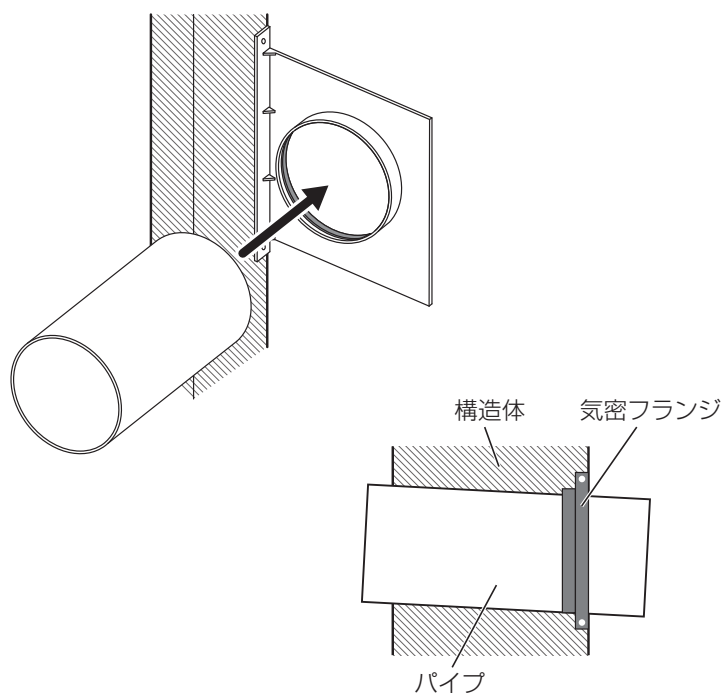
- 4** 現場の施工状況に合わせてパイプ長さをカットします。



取り付け寸法は (P41) を参考。

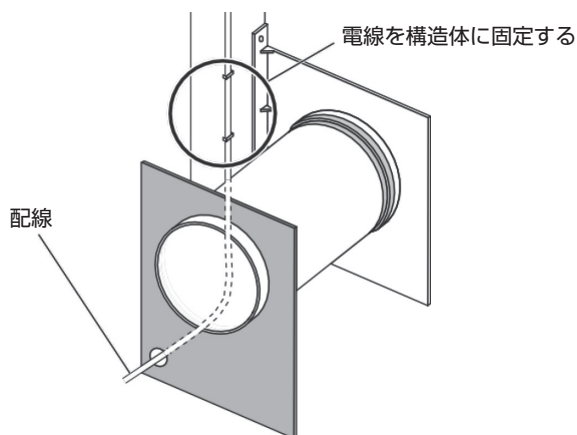
- イラストでは気密フランジを構造体の屋外側に取り付けていますが、これは電線の配線ルートの確保と、断熱材の充填を考慮した場合は、これらの影響がない施工現場では、気密フランジを室内側に取り付けても問題ありません。
- 付属の気密フランジセットに添付されている取扱説明書の固定方法は、一般的な条件での固定方法であり、機器において使用する場合は、本取付説明書を優先してください。
- 気密フランジは、断熱材の納めに支障が出ないように注意します。
- 気密ラバーは、透湿防水シートとパイプの取合い部分に使用します。
- グラスウール等の充填断熱の場合は、気密フランジの枠面を屋外側 (外面) に合わせて設置してください。
- パイプを必要以上に短くすると、ファンユニットモジュールや防火ダンパーが収まらなくなります。パイプ全長の最低長を必ず確保してください。
- 雨水の浸入を防ぐために室内側のほうが高くなるように、パイプに $3^\circ$ 程度傾斜をつけます。傾きが大きすぎると、前面プレートへのはめ込みができなくなります。 $3^\circ$ 未満にしてください。
- 外気フードを設置するまでは、パイプ内に雨水が入らないように屋外側に防水対策をしてください。
- 室外側に向かって $3^\circ$ 未満の傾斜を付けますので、上端をツライチに、下段を傾斜に合わせて、少しはみ出すように設置してください。

**5** 気密フランジにパイプを通します。



**6** 住宅の気密シートを通す穴の施工部には、住宅の気密が損なわれないように、別途適切な気密処理を行ってください。

**7** 電源線を間柱などの構造体にステップルで固定の上、型紙を固定し、型紙の電源引込口から配線を引き出して下さい。



**✓** **ご注意**

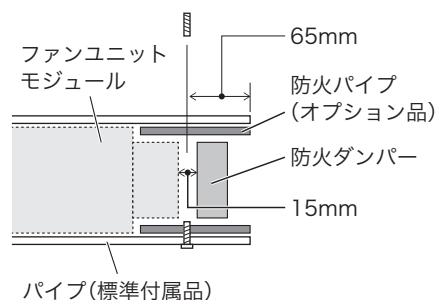
電線が気密層等を通る場合は、断熱層への湿気の流入を防ぐために、貫通部に気密処理を施してください。

●内壁、外壁、構造用合板などのパイプが貫通する面材を貼るときは、パイプの勾配 (3°以内) が確保されていることを確認してください。

●パイプ長が長すぎたり、勾配が急すぎると、装置本体への組み付けがしっかりとできなくなる恐れがあります。この段階でパイプ長や勾配が適切であるかを確認し、調整してから固定してください。

●**防火パイプを使用する場合**

オプションの防火パイプを使用する場合は、標準付属のパイプの内側に、防火パイプを挿入し、防火パイプに同梱されているビスで固定してください。



●同様に透湿防水シートを通す穴についても、適切な処理を行ってください。

**8** 室内側に設置用プレートを固定するため、P40「4-2-1. 設置場所の確保と木工事」の下地施工用参考図を参考に下地を準備します。設置用プレートは木ネジ等 (M4 相当) を使って4 か所で固定します。また、必要に応じて木枠 (胴縁等) を取り付けてください。

**9** これで木工事の工程での作業は完了です。

## 5-3. 配線工事

配線に関する詳細については、P42「4-2-2. 配線工事」をお読みください。

## 5-4. 内装工事・防水工事のときの作業

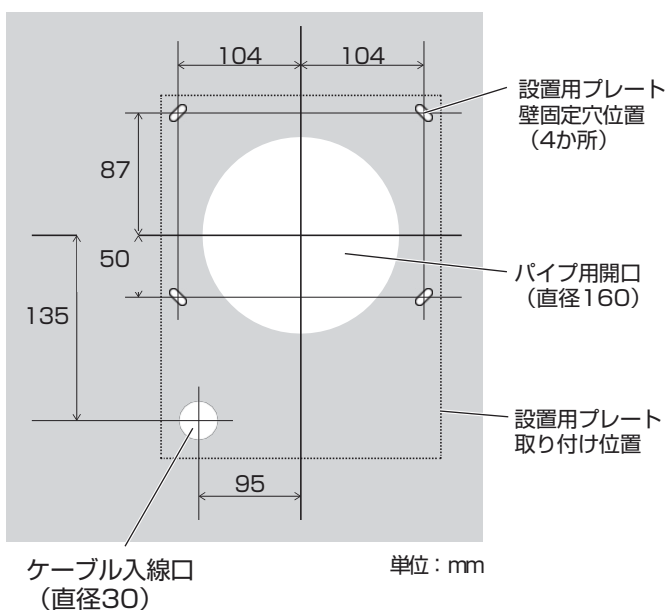
### 5-4-1. 内装工事にあわせた作業

パイプの設置と配線工事が終われば、内装工事に進むことができます。

**1** 機器の周囲に、断熱材等の断熱処理をします。

**2** 室内側の壁面の下地材を施工する際に、パイプ穴とケーブル穴の開口を開けます。

付属の型紙を使って寸法取りすることもできます



**3** 装置本体の設置場所では、付属の前面プレートに含まれる「設置用プレート」を使って、引き出し可能範囲に配線を引き出します。

●発泡性の断熱材を使用する場合は、パイプを変形させてしまう恐れがあります。使用の際は十分にご注意ください。

●本製品に付属の気密ラバーは、透湿防水シートとパイプの取り合い部分などにご使用いただけます。

●パイプの室内側の先端は、壁面の仕上がりと同面になるように設置してください  
※パイプへの雨水の侵入を防ぐため、室外側に向けて下り勾配でパイプをセットするため、下端が少し室内側に出るようになります。

●パイプの室外側も10mm以上、80mm (深型は140mm) 以下室外側に出るように設置してください (→ P41)。

●ケーブル穴は、電源線を通すための穴です。左図の場所しか開口スペースを設けることはできません。

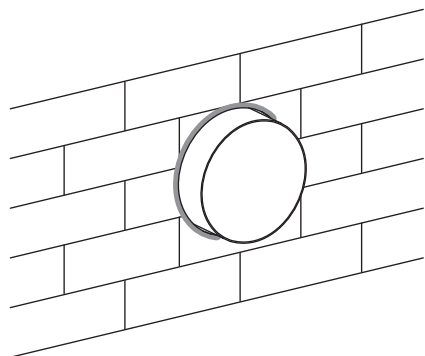
●パイプと壁面の下地材の隙間には、適切な気密処理をしてください。



## 5-5. 外気フードの取り付け

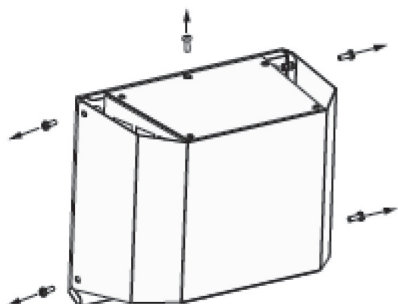
外気フードを取り付けます。

- 1** パイプと外壁のすき間を、全周すき間なくコーキングで仕上げます。

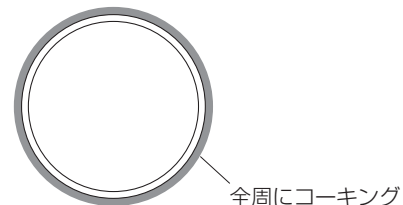


- 2** オプションの「防火ダンパー」を使用する場合は、屋外側からセットします。

- 3** 同梱品の外気フード本体のネジを外し、取付ベースを取り外します。



- 必ず全周にコーキング処理を施してください



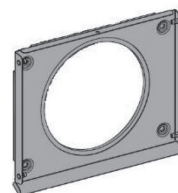
- パイプの室外側も10mm以上、80mm（深型は140mm）以下室外側に出るように設置してください。（→ P41）

- 雨水の浸入を防ぐために室内側のほうが高くなるように、パイプに3°未満の傾斜をつけて仕上げます。

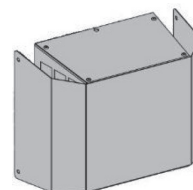
- 原則として、温度ヒューズが屋外側になるようにセットし、屋外側から点検ができるようにしてください。

- 屋外側から温度ヒューズを点検できない場合は、温度ヒューズを屋内側に向けてください。

- 外壁貫通部の防水、気密処理に関しては当該建物が要求する施工方法（第三者保証機関の仕様等）を確認した上で行ってください。

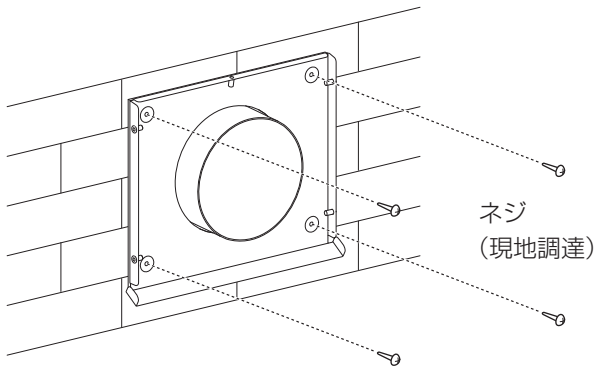


取付ベース

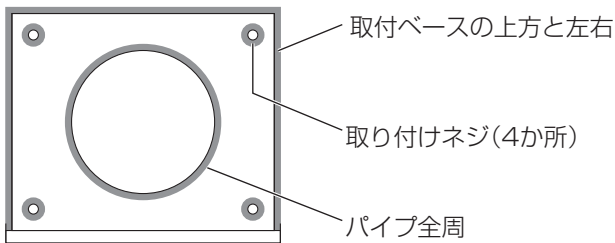


外気フード本体

**4** 取付ベースを外壁に固定します。



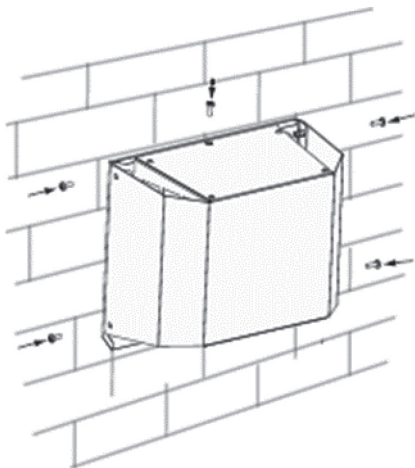
**5** 外壁面と取付ベース、パイプと取付ベース、それぞれをコーキングで防水処理します。



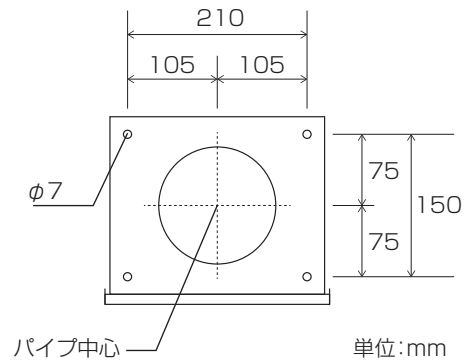
**✓** **ご注意**

必ず外気フード本体を取り付ける前に、取付ベースの周囲にコーキングしてください。外気フード本体を取り付けた後でコーキングすると、メンテナンス時に外気フード本体を取り外すことができません。

**6** **3** で外したネジを使って外気フード本体を取付ベースに取り付けます。



● 寸法図



● 外壁面と取付ベースの間取付ベースの上方と左右にコーキング

● パイプと取付ベースの間パイプ全周にコーキング

● 取り付けネジ4か所にコーキング

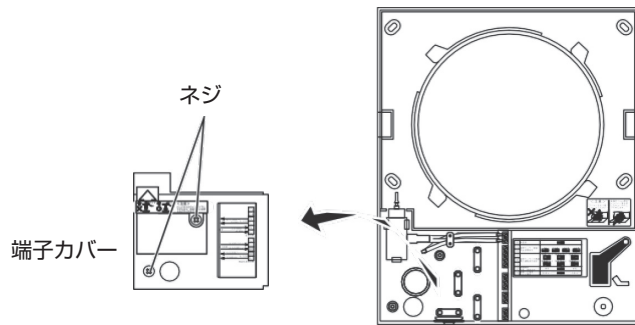
● サビの早期発生を防ぐため、外気フード表面をから拭きして、手垢などを取り除いてください。

● 試運転後は、お客様への引き渡しまで、保護シート等で保護してください。

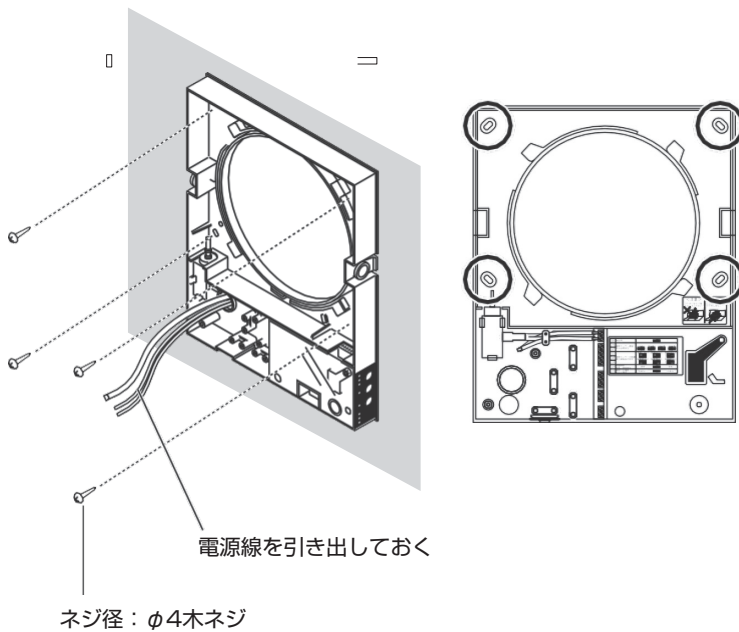
## 5-6. 装置本体の取り付け

機器を複数設置する場合で、ディップスイッチ (→ P47) の設定を変更した装置本体がある場合は、それぞれの設置場所を確認したうえで、正しい場所に設置するようにしてください。

**1** 「設置用プレート」の端子カバーを外します (ネジ2 か所)。



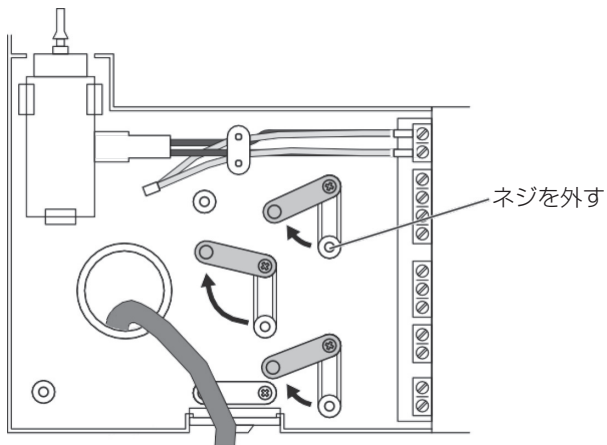
**2** 「設置用プレート」を壁面に取り付けます (ネジ4 か所)。



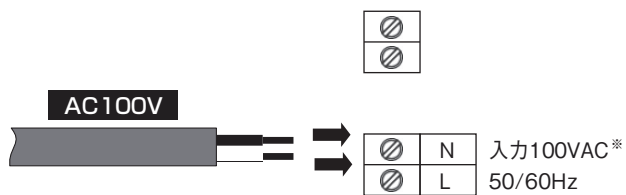
●カバーは無くさないように保管してください。

●壁面より引き出された電源線を、設置用プレートの配線用の穴を通してから取り付けます。

- 3** 「ケーブル押さえ」(3 か所)のネジの一方を外し、もう一方をゆるめておきます。

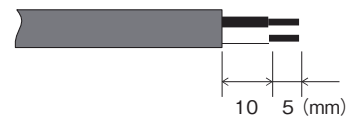


- 4** 電源線を「設置用プレート」にある端子に接続します。



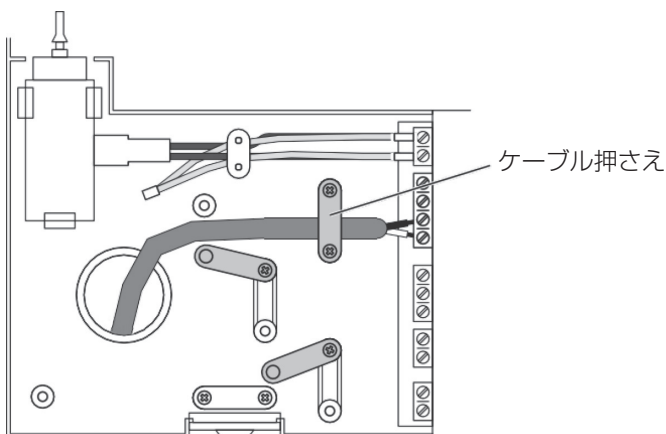
- 外したネジは無くさないようにしてください。
- 電源引き込み口のゴムパッキンは外さないでください。

- 電源線の絶縁被覆の剥く長さは下記を参照してください。



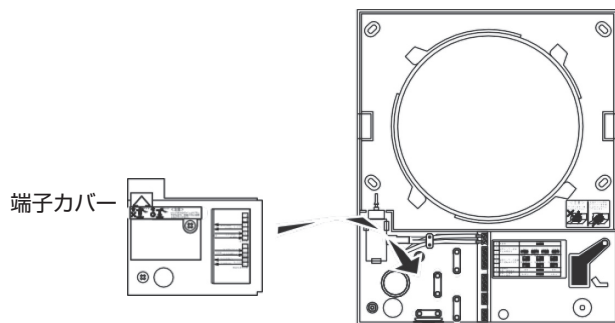
シースを剥きすぎると、ケーブル抑えが有効に機能しません。

- 5** **3**で準備した「ケーブル押さえ」で電源ケーブルを固定します。

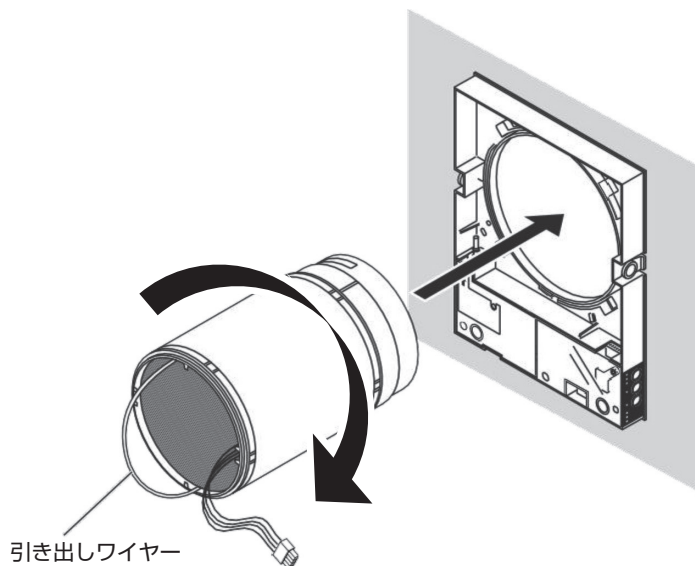


- 1本のケーブルに対して1個のケーブル押さえを使用してください。

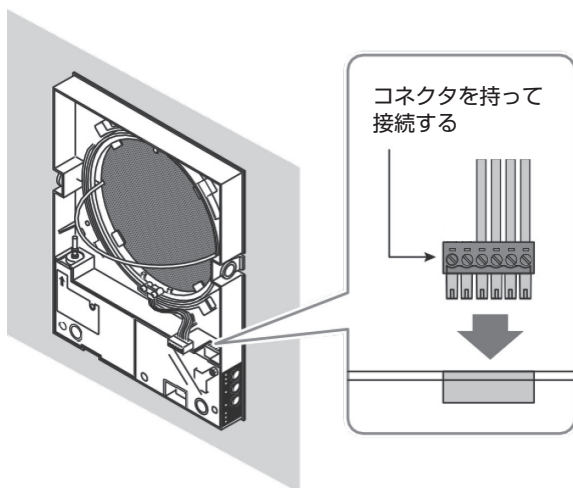
6 手順 1 で外した端子カバーを元に戻します。



7 ファンユニットモジュールをパイプの中にセットします。  
引き出しワイヤーが付いたほうが室内側になります。



8 ファンユニットに接続されているコネクタを、「設置用プレート」の端子受けにしっかりと接続します。

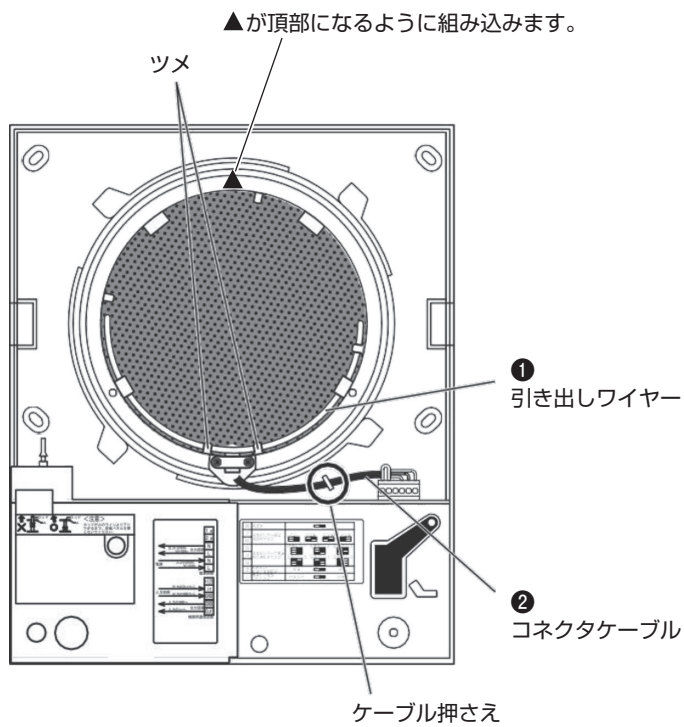


●ファンユニットモジュールが入りづらい場合は、ファンユニットモジュールを時計回りに回転させながら、ゆっくりとパイプに押し込みます。

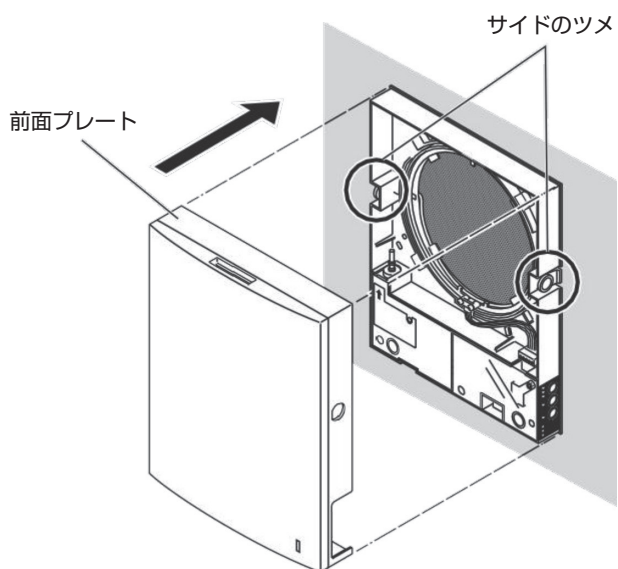
●雨水の侵入を防ぐため、パイプは室内側が少し高めに傾斜しています。入りにくい場合は、室内側をやや高めにした状態でセットしてみてください。

●端子の向きに注意し、しっかりと奥まで差し込んでください。

- 9 給排気の邪魔にならないように、①引き出しワイヤーをフックのツメに引っ掛けます。②コネクタケーブルをケーブル押さえにはめ込みます。



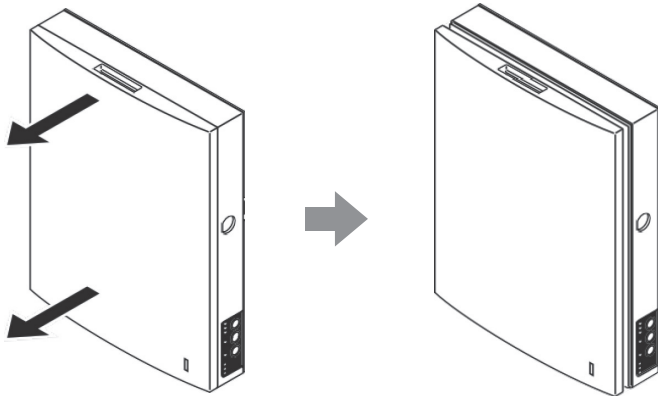
- 10 電源がオフの状態、運転が停止していることを確認し、前面プレートを取り付けます。



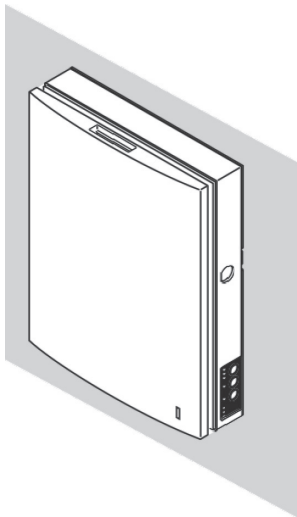
- イラストの位置のフックにのみ、ツメが付いています。

- 「設置用プレート」両サイドのツメを軽く抑えてカバーをセットします。カチッとハマって、カバーがしっかり固定されるようにセットしてください。

- 11 前面プレートの上下にある溝を使って、真っ直ぐ前に引き出します。



- 12 これで装置本体の設置は完了です。



- 前面プレートのツメを破損させないように、ご注意ください。


## 5-7. 親機と子機接続する

必ず機器を設置してから行ってください。

### ✓ご注意

接続する前にP.47「4-4-2. ディップスイッチで設定できる内容」のディップスイッチ「1」親機と子機の設定を確認ください。  
親機と子機を接続できない場合は、親機を分ける等の処理をしてください。

例) 6台設置 (1台親機、5台子機) で2台子機接続ができない場合は、4台セット (1台親機、3台子機) と2台セット (1台親機、1台子機) を分けて、設置してください。

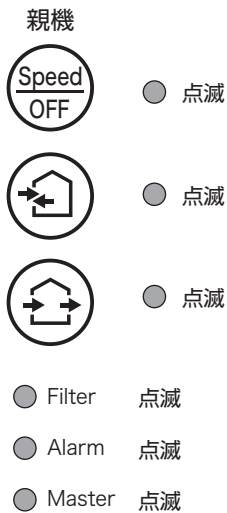
**1** 親機の「 換気モードボタン」を3秒以上押し、全LEDランプが点滅することを確認します。


### ✓ご注意

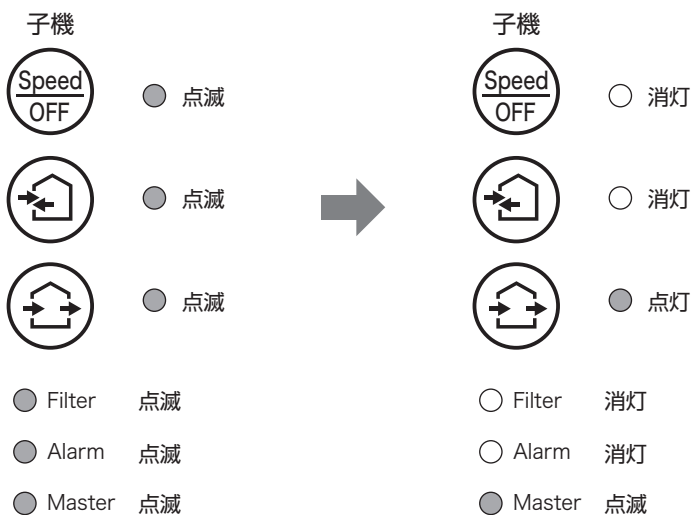
親機の点滅は3分後に終了します。

3分以内 (親機LED点滅中) に各子機の操作を行い、親機で確定させる必要があります。

3分以内に設定できなかった残りの子機は手順 **1** ~ **3** を行ってください。



**2** 親機のLEDランプが点滅中に子機の「 換気モードボタン」を3秒以上押し、子機的全LEDランプが全点滅の状態から「換気モード」が点灯、「Master」が点滅するまでを確認します。

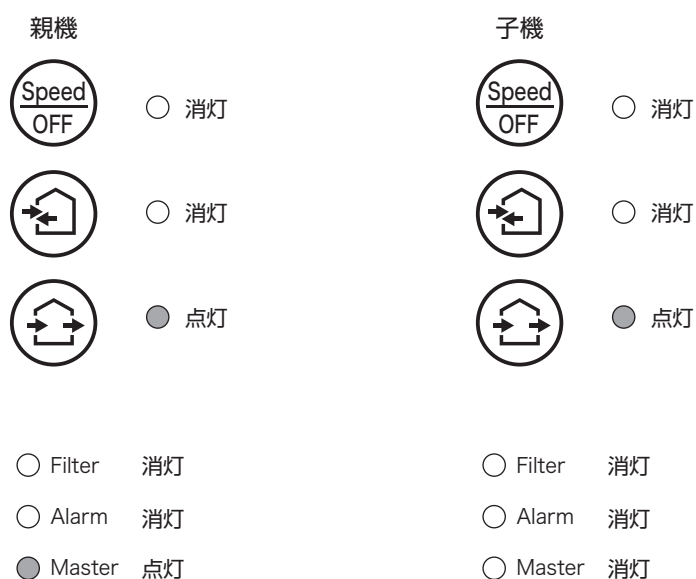




**3** 各子機の設定完了後、親機で親子設定を確定させます。親機のLEDランプが点滅中に、親機の「 換気モードボタン」を3秒以上押します。

親機は「換気モード」の点灯と「Master」の点灯

子機は「換気モード」の点灯と「Master」の消灯になれば、完了です



### ご注意

親機で親子設定を確定させ後、子機の「Masterランプ」が点滅する場合、子機と親機の接続が完了していません。子機はスタンバイモード運転します (P.47「4-4-2. ディップスイッチで設定できる内容」参考)。

改めてP62からの手順 **1** ~ **3** を行ってください。

## 5-8. 試運転をする

すべての機器の設置が完了した後、必ず試運転を実施し、正常に動作することを確認します。

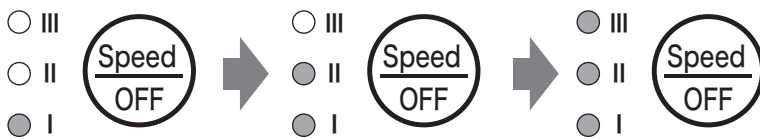
### 5-8-1. 装置本体の操作ボタンでの動作確認

装置本体の右側面にある操作ボタンを使って、動作を確認します。ボタンの操作は親機のみ有効です。子機は親機に連動して動作しているかを確認してください。子機の表示ランプは親機の動作に連動しています。

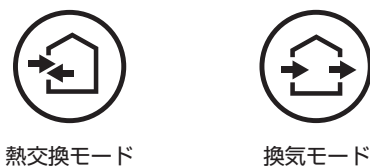
- 1** 分電盤の電源ブレーカをオンにします。親機・子機ともに熱交換モードランプが点灯します。



- 2** 親機の装置本体右側面にある (Speed/OFF) ボタンを押します。風量Ⅰランプが点灯し、運転を開始します。押すたびに子機も含めて風量が切り替わることを確認します。



- 3** 運転モードボタンを押して、モードが切り替わることを確認します。熱交換モードでは、給排気が約70秒ごとに切り替わることを確認します。



- 4** (Speed/OFF) ボタンを押して、ファンの運転が停止し、電源が切れることを確認します。

- 親機は親機ランプが点灯します。
- ディップスイッチ「2」(→ P47)の設定を「ON」にしている場合は、電源をオンにした時点で運転を開始します。
- 風量Ⅲでボタンを押すと、運転を停止します。  
※ディップスイッチ「2」(→ P47)がONの場合は、風量Ⅰに戻ります。
- 切り替わるときに、いったんファンの回転が止まりますので、動作音で判断できます。
- 風量が小さいと切り替わったことが分からない場合があります。その場合は、風量Ⅲに設定してください。
- 切り替わるときに、わずかに「カチッ」という音がする場合がありますが、異常ではありません。
- ファンが停止し、電源が切れると、風量のランプがすべて消灯します。
- 複数台の装置本体を設置している場合は、すべての機器が親機に連動して動作していることを確認します。

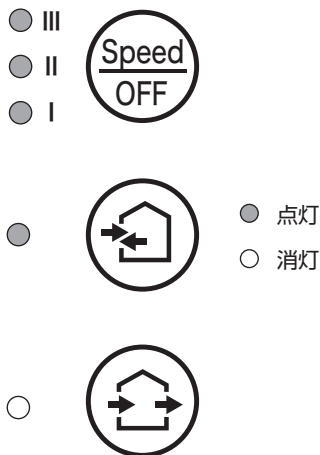
## 5-8-2. リモコン（オプション品）の動作確認

リモコンを使っての動作を確認します。リモコンからの信号は親機に対してのみ有効です。子機は親機に連動して動作しているかを確認してください。

**1** リモコンを親機に向けて、リモコンのボタンを以下の順に押します。



**2** そのままの状態、1台ずつ装置本体右側面にある操作ボタンのランプが以下のように点灯していることを確認します。

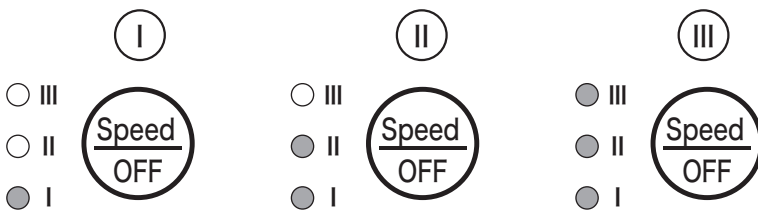


**3** そのままの状態、1台ずつ約70秒ごとに給気と排気が切り替わることを確認します。

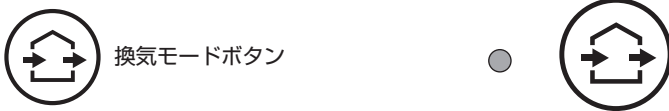
●風量がいさいと切り替わったことが分からない場合があります。その場合は、風量Ⅲに設定してください。

**4** リモコンの風量ボタンを押して、装置本体右側面にある操作ボタンの風量ランプが切り替わることを確認します。

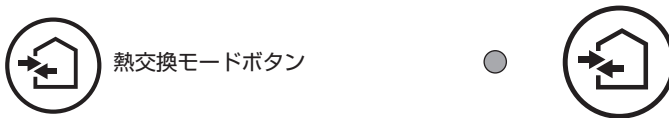
●切り替わるときに、わずかに「カチッ」という音がする場合がありますが、異常ではありません。




- 5** 換気モードボタンを押して、換気モードランプが点灯することを確認します。



- 6** 熱交換モードボタンを押して、熱交換モードランプが点灯することを確認します。



- 7**  電源オン／オフボタンを押して、ファンの運転が停止し、電源が切れることを確認します。

- 8** 分電盤のブレーカをオフにします。試運転は完了です。

- 9** 本説明書は、前半が取扱説明書になっています。竣工時にお客様にお渡しください。

●必要に応じて、風量を調整します。





# 保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象いたしません。お取付け日から3年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル（株）に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		
	お名前 様		
お取扱い店	社名	印	取扱者
	〒		印
	住所		
	電話（ ）	—	
お取付け日	年	月	日

型名	LT- 50Smart		
製造番号	— —		
保証期間	製品	お取付け日から3年	

機器はお取付け日から3ヶ年保証です。

## ★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## （無料修理規定）

- お引渡し仕様の条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル（株）にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。  
「お取付け日」の記載がない場合、日本スティーベル（株）の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。
- ご転居等、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル（株）にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
  - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
  - お取付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
  - 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。
  - 一般の建物以外（例えば車輦・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
  - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
  - 消耗部品の交換、及び保守等の費用。
  - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
  - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
  - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

**STIEBEL ELTRON** 日本スティーベル株式会社

## SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！チャンネル登録を宜しくお願い致します。



@nihonstiebel  
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル (Nihon Stiebel)  
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル株式会社  
機器の設定、お手入れ、施工動画等  
ご利用者様へのインタビュー動画等



**STIEBEL ELTRON**

<https://www.stiebel-eltron.co.jp>  
製品一覧、会社概要、カタログ、取扱取付説明書、仕様図のダウンロード



## 日本スティーベル株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号  
TOKYO Y.Bビル 2階  
TEL:03-5715-4655  
(営業時間外・土日・祝日及び特定休業日を除く)

■製造者 **STIEBEL ELTRON**

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください